

平成 28 年度
高浜市決算の概要



平成 29 年 12 月
高浜市総務部財務グループ

目 次

1	平成 28 年度決算の規模	1
2	一般会計（歳入）の内訳表	2
3	市税収入の状況	4
4	一般会計（歳出）の内訳表	6
5	市債（借金）の状況	12
6	基金（貯金）の状況	14
7	巻末資料	
	(1) 広報たかはま（平成 29 年 11 月 1 日号）「平成 28 年度 たかはまの決算」	18
	(2) 平成 28 年度 主要・新規事業の概要【決算】	20
	【コラム】	
	・都市計画税ってどんな税金なの？	5
	・「扶助費」ってどんなことに使うお金なの？	11

1 平成28年度決算の規模

歳入

(単位：円、%)

会計別	28年度	27年度	増減額	対前年比	
一般会計	15,050,112,838	14,840,183,491	209,929,347	101.4	
特別会計	国民健康保険事業	4,025,315,811	4,155,426,498	△130,110,687	96.9
	土地取得費	96,831,033	47,676,567	49,154,466	203.1
	公共下水道事業	1,405,605,756	1,389,953,465	15,652,291	101.1
	公共駐車場事業	63,297,562	85,781,774	△22,484,212	73.8
	介護保険	2,613,542,972	2,583,363,164	30,179,808	101.2
	後期高齢者医療	464,295,028	450,689,971	13,605,057	103.0
	小計	8,668,888,162	8,712,891,439	△44,003,277	99.5
水道事業会計	985,678,097	963,376,534	22,301,563	102.3	
合計	24,704,679,097	24,516,451,464	188,227,633	100.8	

歳出

(単位：円、%)

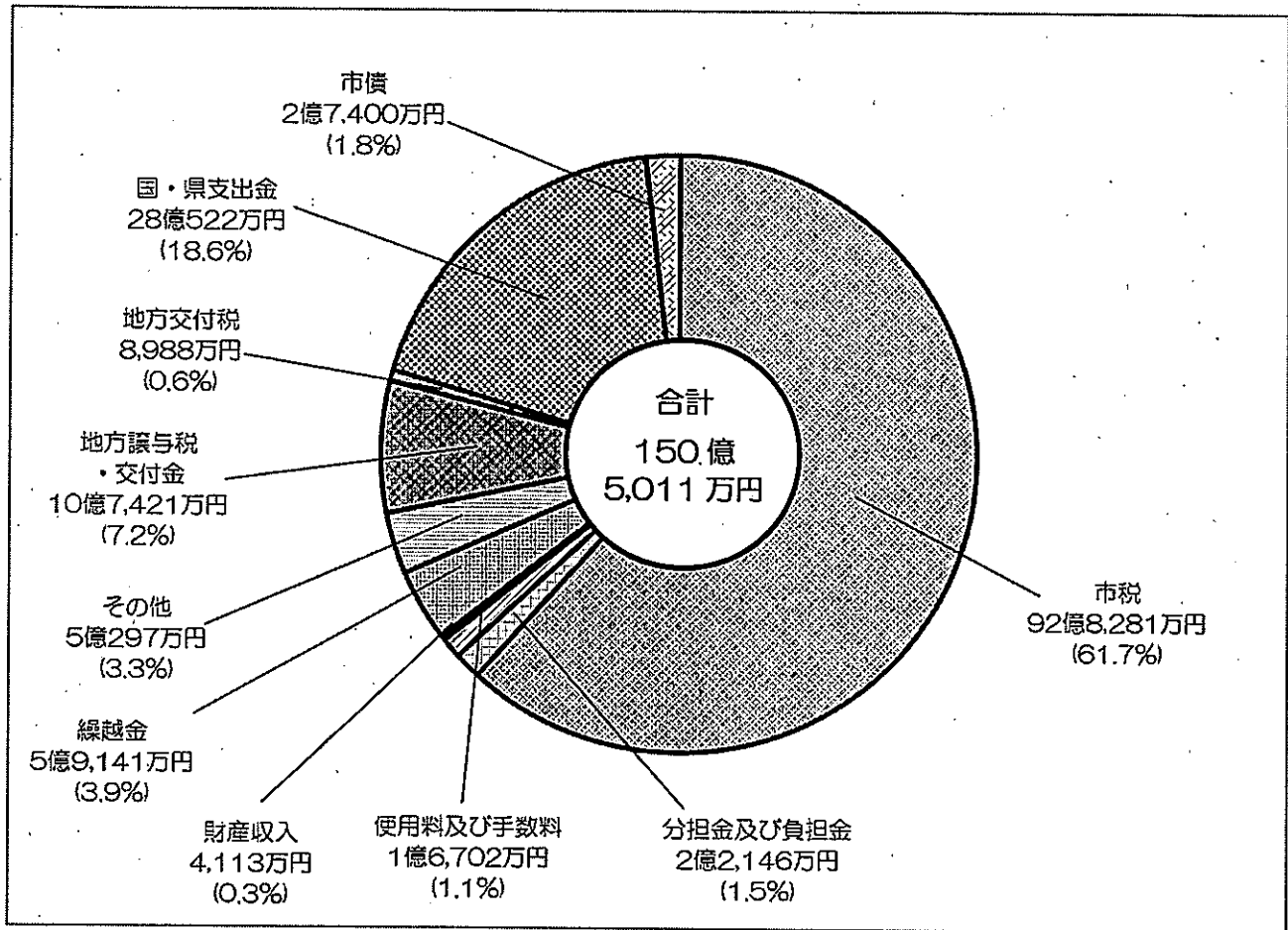
会計別	28年度	27年度	増減額	対前年比	
一般会計	14,205,709,413	14,248,773,604	△43,064,191	99.7	
特別会計	国民健康保険事業	3,899,025,798	4,006,180,186	△107,154,388	97.3
	土地取得費	53,445,661	31,391,186	22,054,475	170.3
	公共下水道事業	1,347,416,291	1,338,866,811	8,549,480	100.6
	公共駐車場事業	22,268,487	57,389,980	△35,121,493	38.8
	介護保険	2,478,041,132	2,484,414,480	△6,373,348	99.7
	後期高齢者医療	457,268,513	444,357,353	12,911,160	102.9
	小計	8,257,465,882	8,362,599,996	△105,134,114	98.7
水道事業会計	1,112,887,191	1,001,188,108	111,699,083	111.2	
合計	23,576,062,486	23,612,561,708	△36,499,222	99.8	

2 一般会計（歳入）の内訳表

(単位：千円)

項目	説明	28年度 決算額	27年度 決算額	増減		
				増減額	対前年比	
自主財源	市 税	市民の皆さんに納めていただいた税金	9,282,808	8,616,936	665,872	107.7%
	分担金及び負担金	保育所への入所など、利用者が負担したお金	221,458	213,910	7,548	103.5%
	使用料及び手数料	市の施設の使用料や各種証明書の発行手数料による収入	167,017	173,980	△6,963	96.0%
	財産収入	市有地の貸付や売却収入、基金の運用などによる収入	41,134	32,247	8,887	127.6%
	寄附金	市民などから頂いた寄附金	22,085	16,927	5,158	130.5%
	繰入金	基金などからの繰入金	149,754	98,475	51,279	152.1%
	繰越金	前年度からの繰越金	591,410	966,786	△375,376	61.2%
	諸収入	利子やその他雑入など	331,128	349,186	△18,058	94.8%
	小 計		10,806,794	10,468,447	338,347	103.2%
依存財源	地方譲与税	国税の一部が、法令の配分基準に従って市に譲与されたお金	104,735	105,944	△1,209	98.9%
	利子割交付金	県税の利子割の一部が市に交付されたお金	8,078	15,867	△7,789	50.9%
	配当割交付金	県税の配当割の一部が市に交付されたお金	38,122	50,205	△12,083	75.9%
	株式等譲渡所得割交付金	県税の株式等譲渡所得割の一部が市に交付されたお金	19,839	52,185	△32,346	38.0%
	地方消費税交付金	地方消費税の一部から交付されたお金	810,270	876,593	△66,323	92.4%
	自動車取得税交付金	県税の自動車取得税の一部が市に交付されたお金	42,035	40,283	1,752	104.3%
	地方特例交付金	国の施策による減収分の補てんとして市に交付されたお金	44,255	40,503	3,752	109.3%
	地方交付税	市の財政需要に応じて国から交付されたお金	89,883	197,891	△108,008	45.4%
	交通安全対策特別交付金	国に納付された交通反則金の一部が市に交付されたお金	6,880	7,100	△220	96.9%
	国庫支出金	特定の事業をするため国から交付されたお金	1,887,608	1,774,391	113,217	106.4%
	県支出金	特定の事業をするため県から交付されたお金	917,614	951,774	△34,160	96.4%
	市 債	国や金融機関等から借り入れたお金	274,000	259,000	15,000	105.8%
	小 計		4,243,319	4,371,736	△128,417	97.1%
合 計		15,050,113	14,840,183	209,930	101.4%	

歳入 総額 150 億 5,011 万円



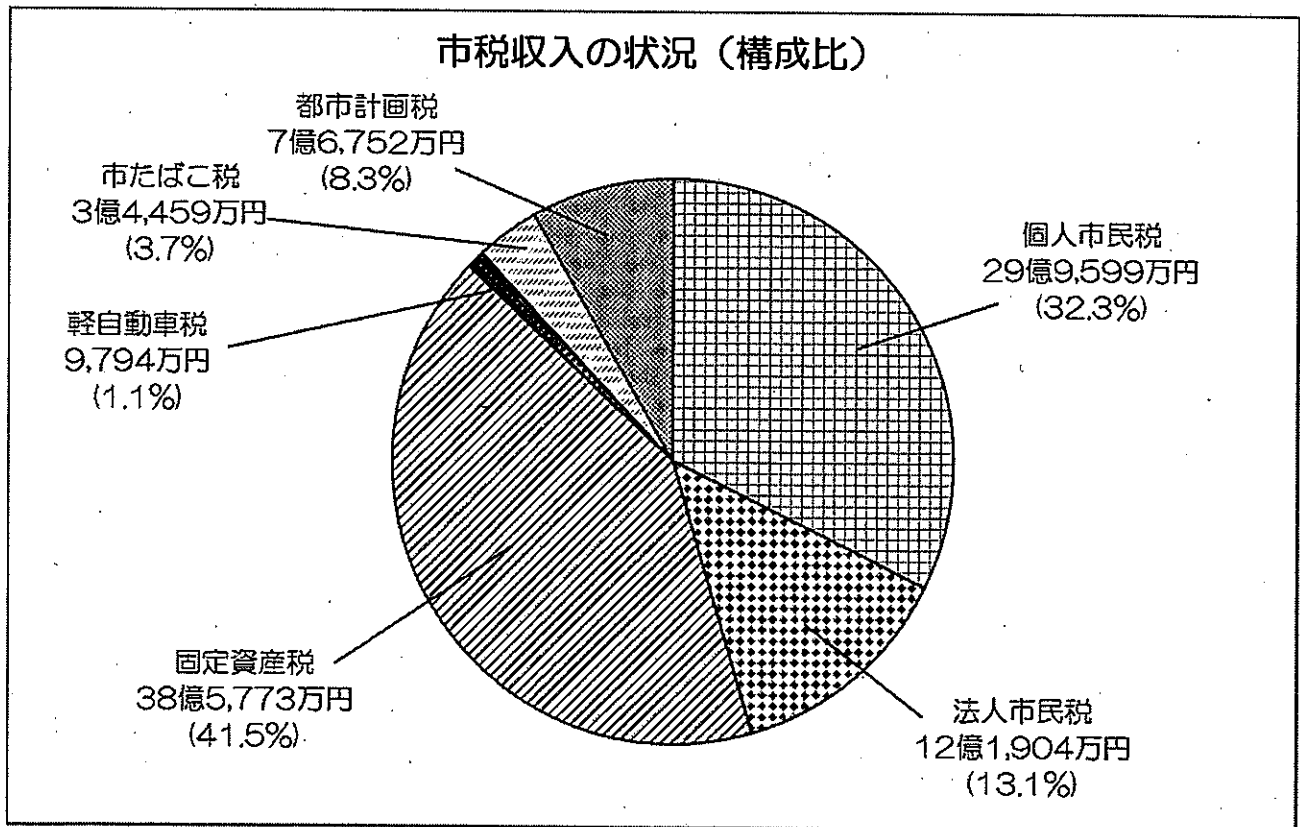
主な増減項目

項目	増減	主な内容 (平成 27 年度決算との比較)
市 税	➡ 増	<ul style="list-style-type: none"> 法人市民税 (+4 億 4,794 万円) 個人市民税 (+6,600 万円)
繰 入 金	➡ 増	<ul style="list-style-type: none"> 財政調整基金繰入金 (+9,170 万円)
地方交付税	↘ 減	<ul style="list-style-type: none"> 普通交付税 (△7,067 万円) →平成 28 年度より普通交付税不交付団体のため皆減
国庫支出金	➡ 増	<ul style="list-style-type: none"> 経済対策臨時福祉給付金事業費補助金 (+6,335 万円) 医療扶助費負担金 (+2,958 万円)
県支出金	↘ 減	<ul style="list-style-type: none"> 新あいち創造産業立地補助金 (△6,240 万円)

3 市税収入の状況

(単位：円、%)

区 分	28 年度		27 年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	対前年比
市 民 税	4,215,032,556	45.4	3,701,096,047	43.0	513,936,509	113.9
うち個人市民税	2,995,992,856	32.3	2,929,995,247	34.0	65,997,609	102.3
うち法人市民税	1,219,039,700	13.1	771,100,800	9.0	447,938,900	158.1
固 定 資 産 税	3,857,726,253	41.5	3,743,623,382	43.4	114,102,871	103.0
軽 自 動 車 税	97,935,800	1.1	83,911,800	1.0	14,024,000	116.7
市 た ば こ 税	344,592,867	3.7	334,739,760	3.9	9,853,107	102.9
都 市 計 画 税	767,520,886	8.3	753,564,636	8.7	13,956,250	101.9
計	9,282,808,362	100.0	8,616,935,625	100.0	665,872,737	107.7



都市計画税ってどんな税金なの？

都市計画税は、住みよい街づくりのための「都市計画事業」などに要する費用の一部を住民の皆さんに負担していただくための目的税で、都市計画区域内の土地・家屋に対してかかる税金です。

都市計画事業とは？

道路、駐車場、公園、緑地や上下水道、ごみ焼却場などの施設を整備する事業のことをいいます。

納める人は？

市内の都市計画区域内に土地や家屋を持っている人が対象となります。

税率は？高浜市は高いの？

高浜市の税率は0.3%となっています。

西三河5市で比べてみると、碧南市以外は同じ税率となっています。

高浜市	碧南市	刈谷市	安城市	知立市
0.3%	0.25%	0.3%	0.3%	0.3%

平成28年度は都市計画税をどんなことに使ったの？

事業名	金額
公園事業	8,344万円
下水道事業	5億6,499万円
道路債の償還	1億3,423万円
その他	1,561万円
合計	7億9,827万円

高浜市では、都市計画税の多くを公共下水道の整備に使っています。

下水道は私たちが使って汚れた水を集めて、きれいな水に変えて川や海へ流すことにより、再び自然の水に戻すことができる大切な施設です。

このように、みなさんからお預かりした都市計画税は、みなさんが快適に暮らすことができる街づくりのために使われています。

4 一般会計（歳出）の内訳表

歳出の内訳（目的別）

（単位：円、％）

科目	28年度		27年度		増減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	対前年比
議会費	164,391,337	1.2	180,941,387	1.3	△16,550,050	90.9
総務費	1,848,664,660	13.0	2,055,269,727	14.4	△206,605,067	89.9
民生費	6,123,744,470	43.1	5,750,731,374	40.4	373,013,096	106.5
衛生費	1,652,576,551	11.6	1,627,767,262	11.4	24,809,289	101.5
労働費	660,700	0.0	674,600	0.0	△13,900	97.9
農林水産業費	71,102,279	0.5	82,424,302	0.6	△11,322,023	86.3
商工費	286,224,390	2.0	402,744,107	2.8	△116,519,717	71.1
土木費	1,154,240,976	8.1	1,220,558,035	8.6	△66,317,059	94.6
消防費	505,255,712	3.6	459,455,263	3.2	45,800,449	110.0
教育費	1,495,326,086	10.5	1,494,862,276	10.5	463,810	100.1
公債費	903,522,252	6.4	973,345,271	6.8	△69,823,019	92.8
合計	14,205,709,413	100.0	14,248,773,604	100.0	△43,064,191	99.7

用語解説

議会費

議員の報酬や議会事務局の人件費、議会運営などにかかる経費

総務費

庁舎管理、防災、戸籍住民基本台帳、選挙などにかかる経費

民生費

児童、高齢者、障がい者などの社会福祉にかかる経費

衛生費

医療、ごみなどの収集運搬などにかかる経費

労働費

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費

農林水産業費

農林水産業の振興、技術の普及などにかかる経費

商工費

商工業の振興、技術の普及や観光などにかかる経費

土木費

道路・河川・公園などの整備や維持管理にかかる経費

消防費

消防団活動や広域消防にかかる経費

教育費

学校教育、社会教育などにかかる経費

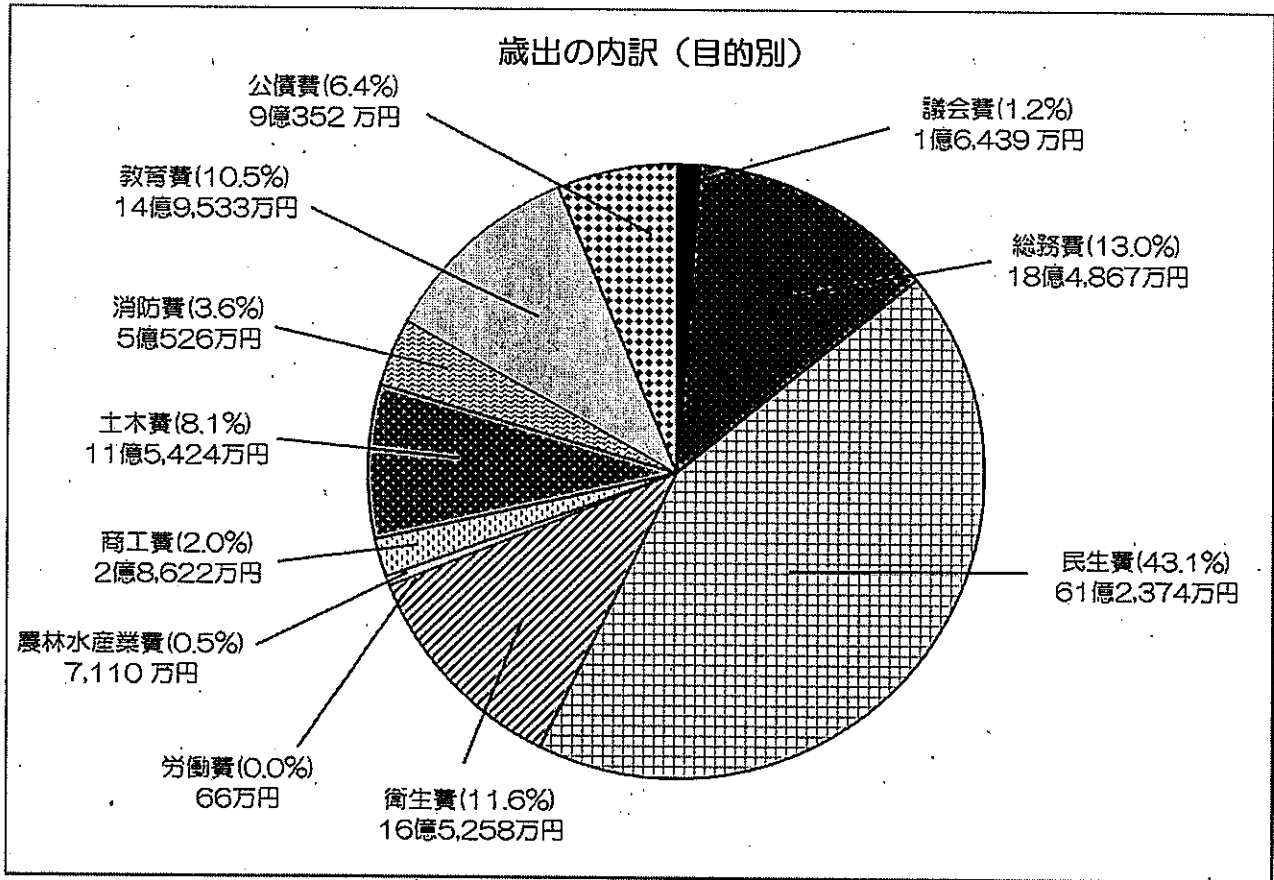
公債費

国や金融機関等から借り入れた市債の返済金

予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費

歳出 総額 142億571万円



主な増減項目

項目	増減	主な内容（平成27年度決算との比較）
総務費	減	<ul style="list-style-type: none"> 総合窓口・総合住民情報システム業務委託料 (+2億561万円) 財政調整基金積立金 (△5億643万円)
民生費	増	<ul style="list-style-type: none"> いきいき広場空調機等更新工事費 (+9,990万円) 養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助金 (+6,000万円)
商工費	減	<ul style="list-style-type: none"> 企業再投資促進補助金 (△1億2,479万円)
土木費	減	<ul style="list-style-type: none"> 港湾環境対策工事負担金 (△4,000万円)
消防費	増	<ul style="list-style-type: none"> 衣浦東部広域連合分担金 (+4,215万円)

歳出の内訳（性質別）

（単位：円、％）

科 目	28 年度		27 年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	対前年比
人 件 費	1,805,046,095	12.7	1,861,467,425	13.1	△56,421,330	97.0
扶 助 費	3,682,347,221	25.9	3,571,869,849	25.1	110,477,372	103.1
公 債 費	841,578,893	5.9	911,401,911	6.4	△69,823,018	92.3
普通建設事業費	734,938,080	5.2	638,821,510	4.4	96,116,570	115.0
物 件 費	3,243,389,960	22.8	2,778,124,843	19.5	465,265,117	116.7
維持補修費	182,843,494	1.3	188,503,979	1.3	△5,660,485	97.0
補 助 費 等	1,808,203,199	12.7	1,837,755,565	12.9	△29,552,366	98.4
貸 付 金	70,000,000	0.5	70,000,000	0.5	0	100.0
積 立 金	79,810,336	0.6	650,667,738	4.6	△570,857,402	12.3
繰 出 金	1,757,552,135	12.4	1,740,160,784	12.2	17,391,351	101.0
合 計	14,205,709,413	100.0	14,248,773,604	100.0	△43,064,191	99.7

用語解説

人件費

職員給料、議員報酬及び各種委員報酬などにかかる経費

扶助費

生活保護、児童手当や子ども医療費、障がいサービスなどにかかる経費

公債費

国や金融機関等から借り入れた市債の返済金

普通建設事業費

道路、橋などのインフラや学校などのハコモノの建改築にかかる経費

災害復旧事業費

台風や豪雨などの災害により被災した施設の復旧にかかる経費

物件費

臨時職員の賃金、消耗品、修繕や各種委託料など消費的性質にかかる経費

維持補修費

道路、橋などのインフラや学校などのハコモノの管理にかかる経費

補助費等

民間などに対して支払う補助、手数料、交付金などにかかる経費

貸付金

市が直接・間接的に現金の貸付をするのにかかる経費

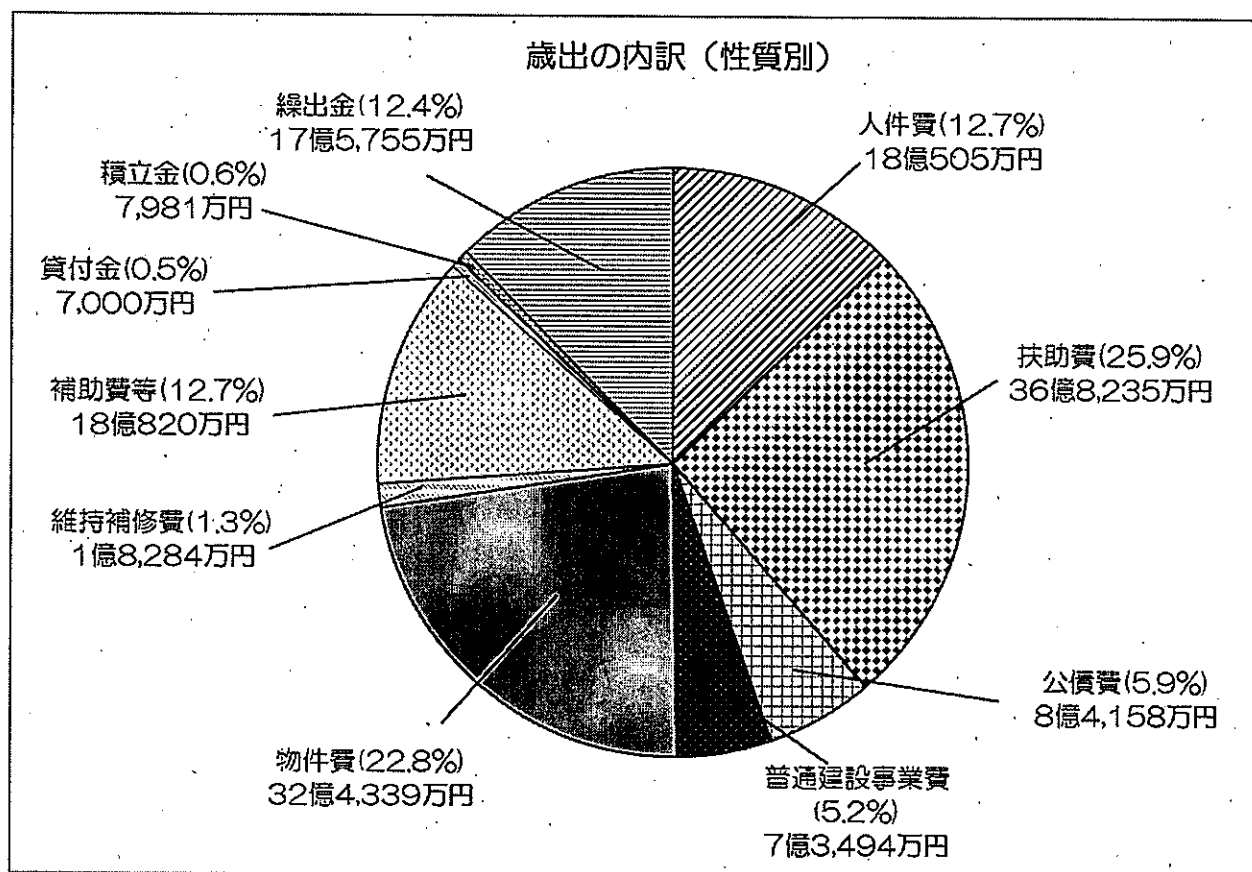
積立金

市が基金（貯金）に積立するのにかかる経費

繰出金

一般会計や特別会計等会計同士でお金を融通するためにかかる経費

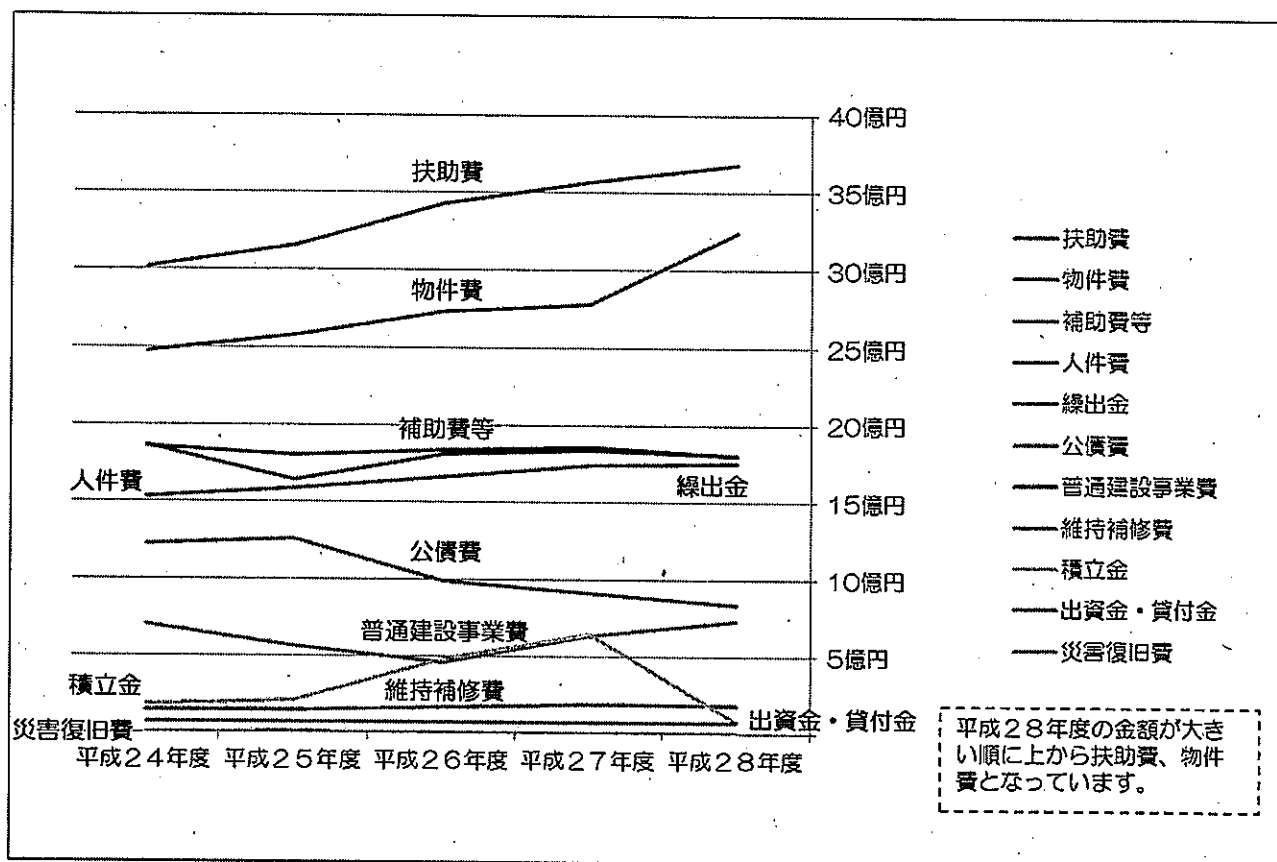
歳出 総額 142億571万円



歳出予算（性質別）の主な増減項目

項目	増減	主な内容（平成27年度決算との比較）
扶助費	➡ 増	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児給付費（障がい福祉サービス費用）（+7,496万円） ・経済対策臨時福祉給付金（+5,996万円）
普通建設事業費	➡ 増	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき広場空調機等更新工事費（+9,990万円） ・スポーツ施設改修工事費（+7,915万円） ・養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助金（+6,000万円）
物件費	➡ 増	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口・総合住民情報システム業務委託料（+2億561万円） ・市役所本庁舎借上料（+1億6,272万円）
補助費等	➡ 減	<ul style="list-style-type: none"> ・企業再投資促進補助金（△1億2,479万円） ・衣浦東部広域連合分担金（+4,215万円）

歳出（性質別）の過去5年間の推移



性質別から見た高浜市の傾向

☆性質別の特徴としては、道路や公共施設の建築・改築に使っているお金「普通建設事業費」が他の性質と比べて、少ないことがわかります。

☆人件費や扶助費（医療費や生活保護費など）、公債費（借金の返済費用）を合わせて「義務的経費」と呼び、これらは勝手に減らすことができない経費となっています。

この割合が高いほど、自由に使えるお金が少ないのです。

☆「義務的経費」の特徴としては、以下のようなものがあります。

○医療費や福祉に使うお金「扶助費」が増加してきています。

○公債費（借金を返す費用）は減ってきていますが、公共施設の更新に伴い、今後増えていくことが見込まれます。

「扶助費」ってどんなことに使うお金なの？

高浜市の決算（一般会計）では、決算額の約4分の1が「扶助費」という性質のお金です。金額にして約36億8,000万円。高浜市にとっては一番大きなお金となっていて、ここ数年では、この「扶助費」に使うお金が昔に比べて増えてきています。

それでは、この「扶助費」というのは、具体的にはどのようなことに使っているのでしょうか。

Q. 「扶助費」ってどういうことに使うお金ですか？

「扶助費」とは、主に社会保障制度の一環として、子どもや障がいをお持ちの方、高齢者の方などが使う様々なサービスの費用や児童手当のような市民の方にお金を支給するような費用のことです。

Q. 高浜市では「扶助費」にはどういったものがありますか？

高浜市では以下のようなものが主な「扶助費」となっています。

●児童手当（平成28年度決算額：約9億8,319万円）

中学校修了前のお子さんを養育している方にお金を支給するものです。

高浜市では、延べ90,544人の方を対象に手当を支給し、家庭などの生活の安定に寄与しました。

●障がい者介護給付費・訓練等給付費（平成28年度決算額：約5億5,115万円）

障がいのある方に対し、障害者自立支援法における自立支援に関する費用（介護・訓練の費用、自立支援に関する医療費、補装具の購入費）を支給するものです。

高浜市では、延べ6,451人の方を対象に支給し、障がいのある方の日常生活などを支援しました。

●子ども医療扶助費（平成28年度決算額：約2億3,855万円）

中学校修了前の子どもが病院に通院（入院）したときの医療費（保険診療の自己負担分）を市が負担するものです。

高浜市では、7,421人の方の医療費を負担し、子どもの健康の増進を図りました。

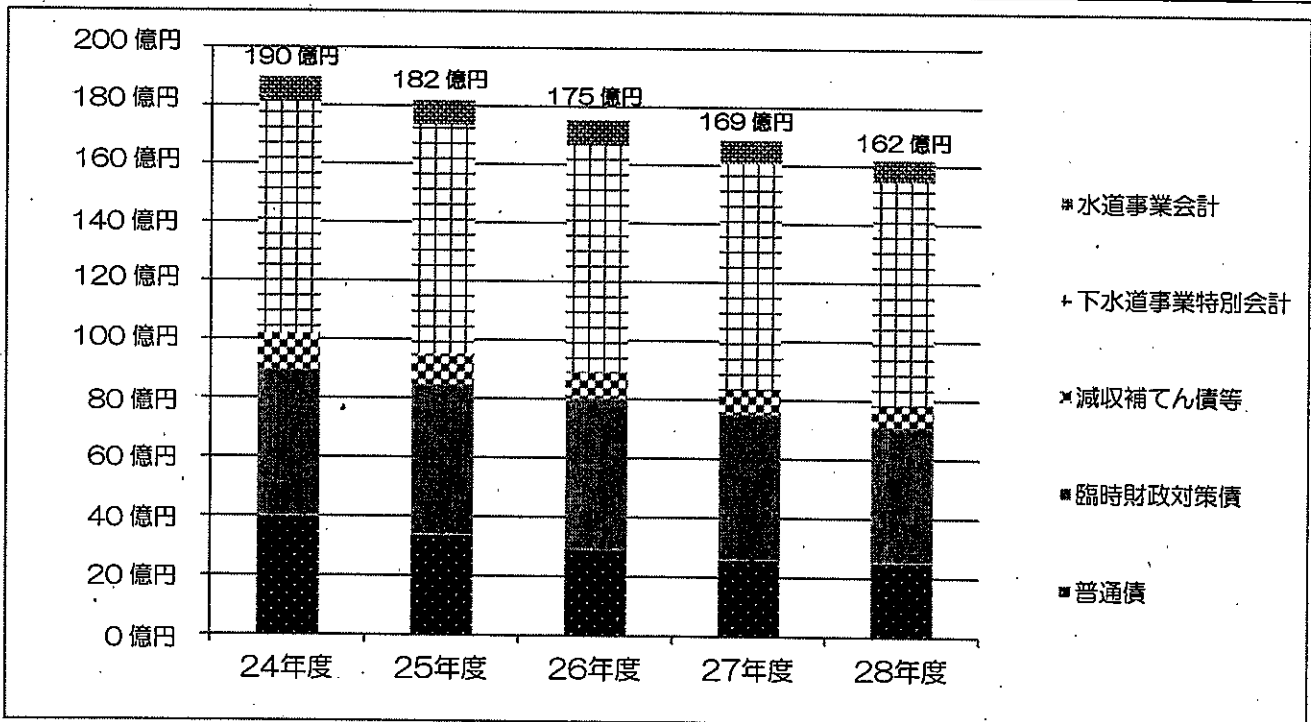
このように、「扶助費」は皆さんの生活にとっても密着したものとなっています。

5 市債（借金）の状況

市債残高の推移

（単位：百万円）

区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一般会計	普通債	3,984	3,351	2,894	2,562	2,482
	臨時財政対策債	4,985	5,120	5,137	4,968	4,615
	減収補てん債等	1,226	1,043	900	801	700
小 計		10,195	9,514	8,931	8,331	7,797
企業会計 特別会計	下水道事業特別会計	7,924	7,841	7,816	7,760	7,676
	水道事業会計	839	823	784	763	740
合 計		18,958	18,178	17,531	16,854	16,213



市債残高は年々減少しています。これは、平成3年度～平成10年度頃に行われた、やきものの里「高浜」整備事業、いきいき広場施設購入事業をはじめとする大型公共事業の償還が順次終了してきているためです。

市債

いわゆる「借金」に相当するものです。市が学校を建てたり、道路や河川を整備したり多額の費用を一時的に必要とする建設事業を行うとき、施設等を利用する将来の市民との間で負担の公平を図るため、長期の資金借入れを行うものです。

学校の建設や道路・河川の整備のように、利益が将来世代にも及ぶ事業に用途を限定されており、地方公共団体の場合、公債といわれるものの発行は、減収補てん債、臨時財政対策債等法律で定められた一部のものを除き発行できないことになっています。

臨時財政対策債

地方公共団体の一般財源の不足を補うため、地方財政法第5条の特例として、特別に発行を認められた、投資的経費（建設工事費など）以外にも充てられる地方債です。

臨時財政対策債の発行に伴い、地方公共団体が将来に渡って支払わなければならない、元金と利子の償還金については、借入をした翌年度以降の地方交付税において、「基準財政需要額（一般的に市の運営で必要と認められる経費）」として措置されます。

高浜市は、普通交付税の不交付団体となっており、平成28年度は発行していません。

減収補てん債

地方税の収入額が標準税収入額を下回る場合、その減収分を補うために発行することができる地方債です。

高浜市は、平成21年度以来発行していません。

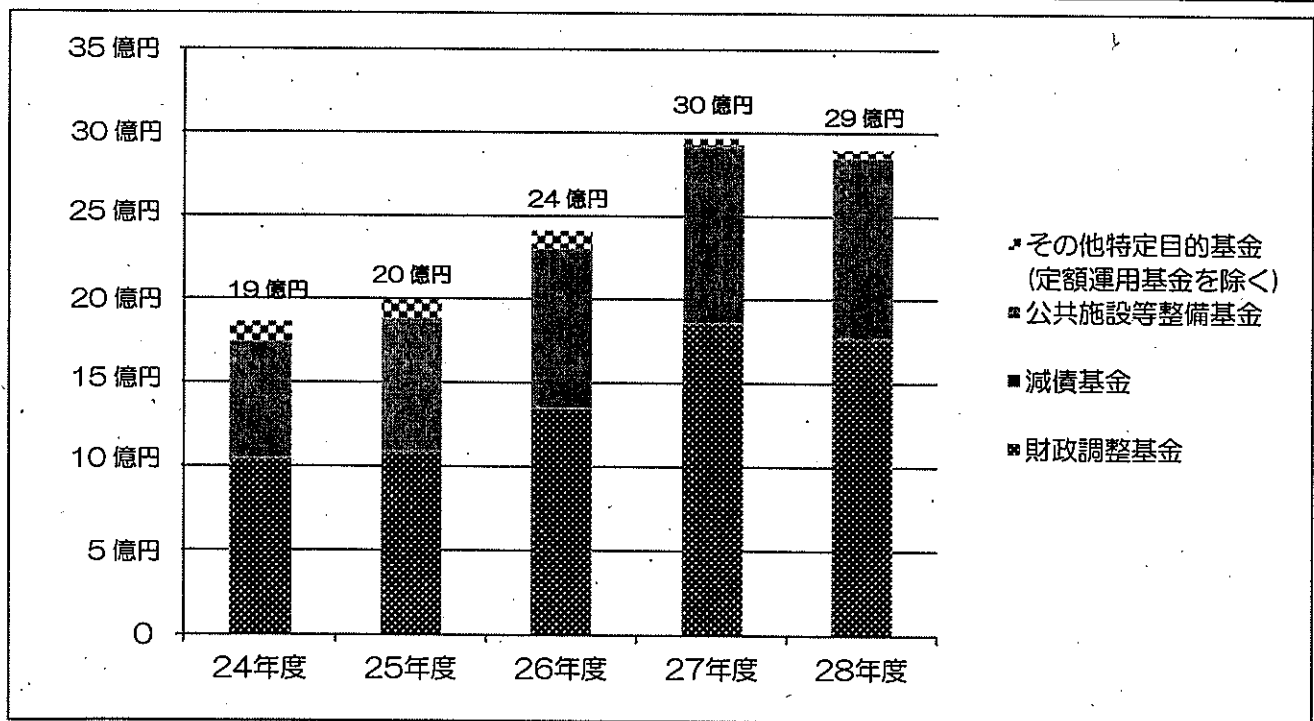
【参考】 市債（一般会計）現在高／標準財政規模（％）→79.2％（愛知県内10位／37市）
（平成28年度地方財政状況調査結果より。名古屋市は除く。）

6 基金（貯金）の状況

基金年度末残高の推移

(単位 百万円)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
財政調整基金	1,040	1,081	1,343	1,854	1,765
減債基金	3	3	3	3	3
公共施設等整備基金	702	805	962	1,069	1,086
その他特定目的基金 (定額運用基金を除く)	119	103	105	40	44
合 計	1,864	1,992	2,413	2,966	2,898



「公共施設等整備基金」については、公共施設の老朽化問題を見据え、計画的に積立を行ってきたため、全ての基金の合計額ではリーマンショック以前の水準を上回るほどに回復してきています。最低限必要な金額は確保していると言えますが、全国的な水準と比較すると、基金はまだ少なく、これからの公共施設の老朽化問題に対応するためには、今後も計画的な積立を行っていく必要があります。

基金

いわゆる「貯金」に相当するものです。地方公共団体が資金の積立て、運用、取崩しを行うもので、本市には経済事情の著しい変動や大規模な災害などに対処するための「財政調整基金」、学校その他公共施設の整備の財源に充てるための「公共施設等整備基金」など10の基金があります。

平成21年度のリーマンショック前は「財政調整基金」の残高は20億円を超えていましたが、リーマンショックの影響により経常的経費が市税等の一般財源で賄い切れないうちで、財政調整基金を取り崩すことにより財源を賄ってきました。

その一方で「公共施設等整備基金」については、公共施設の老朽化問題を見据え、計画的に積立てを行ってきたため、全ての基金の合計額ではリーマンショック前の水準を上回るほどにまで回復してきています。最低限必要な金額は確保していると言えますが、全国的な水準と比較すると、まだまだ少なく、今後の公共施設の整備のために、引き続き計画的な積立てを行っていく必要があります。

【参考】

■基金／標準財政規模（％）→32.0％（愛知県内20位／37市）

（平成28年度地方財政状況調査結果より。名古屋市は除く。）

卷末資料

～思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま～
第6次高浜市総合計画体系別重点事業

**I みんなで考え みんなで汗かき
みんなのまちを創ろう**

- ・ 総合窓口・総合住民情報システム業務委託 2億 561万円
- ・ 市役所本庁舎整備事業 1億8,443万円
- ・ いきいき広場空調機等更新工事 9,990万円
- ・ 高浜小学校整備事業支援業務委託 1,403万円
- ・ 高浜市商工会移転改修工事 1,199万円
- ・ 勤労青少年ホーム跡地活用検討業務委託 495万円

**II 学び合い 力を合わせて
豊かな未来を育もう**

- ・ 碧海グランド照明器具設備更新工事等 8,077万円
- ・ 吉浜小学校グラウンド整備工事 2,801万円
- ・ 小学校屋内運動場吊り天井等改修工事 1,658万円
- ・ (仮称)高浜緑地多目的(スポーツ)広場整備工事等 1,512万円
- ・ 学習支援事業業務委託等 (ひとり親家庭等生活支援事業) 795万円
- ・ 子育て支援コーディネーター事業 236万円
- ・ 市誌編さん業務委託等 85万円

**III 明日を生み出すエネルギー
やる気を活かせるまちをつくらう**

- ・ カワラでつながるミライ事業 1,800万円
- ・ 用地測量業務委託・整地工事 1,522万円
- ・ 企業再投資促進補助 1,511万円
- ・ 公園施設長寿命化計画策定業務委託 800万円
- ・ 福祉避難所用防災資機材購入 261万円
- ・ 消防団員家賃補助 108万円

**IV いつも笑顔で健やかに
つながり100倍ひろげよう**

- ・ 養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助 6,000万円
- ・ 生涯現役のまちづくり事業 875万円
- ・ 学習支援事業業務委託等 (生活困窮者自立支援事業) 805万円
- ・ 子ども健全育成支援員報酬 442万円

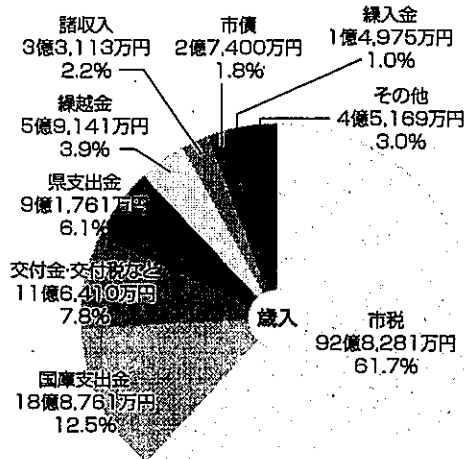
**健全化判断比率・
資金不足比率**

平成28年度決算の健全化判断比率を示す4指標と公営企業の資金不足比率をお知らせします。これらの比率は、赤字額や借入金の額などをもとに自治体の財政の健全化度を数値として表したものです。いずれも数値が少ないほど、その自治体の財政は健全な状態にあります。

指標名	高浜市結果		早期健全化基準	財政再生基準	備考
実質赤字比率	— (赤字ではない)	健全	13.51%	20.00%	8億5,884万円の黒字です。
連結実質赤字比率	— (赤字ではない)	健全	18.51%	30.00%	21億3,042万円の黒字です。
実質公債費比率	-0.4%	健全	25.00%	35.00%	前年度1.0% (-1.4%)
将来負担比率	— (将来負担なし)	健全	350.0%	—	将来負担比率は該当ありません。
資金不足比率 (水道・下水道)	— (資金不足なし)	健全	20.00%	—	資金不足はありません。

問合せ先 財務グループ ☎52-1111 (内線322・306)

一般会計の歳入・歳出

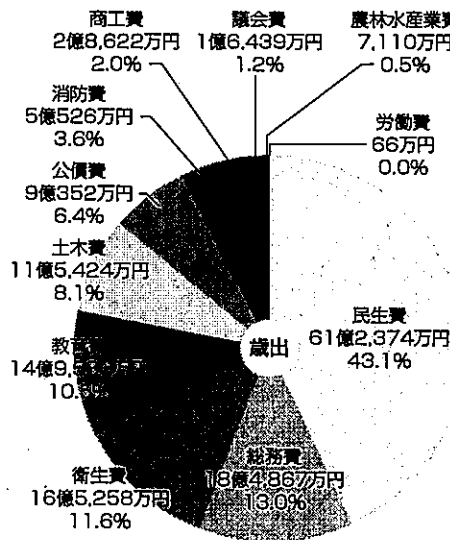


歳入決算額
150億5,011万円

- <主なもの>
- 市税
個人市民税や法人市民税など全体的に増加 (+6億6,587万円)
 - 国庫支出金
臨時福祉給付金の実施により補助金が増加 (+6,335万円)
 - 繰入金
財政調整基金(市の貯金)の取り崩しを実施 (+9,170万円)

歳出決算額
142億 571万円

- <主なもの>
- 民生費
いきいき広場空調機等更新工事の実施 (+9,990万円)
 - 土木費
港湾環境対策工事が終わったことによる負担金の減少 (▲4,000万円)
 - 公債費
借金残高の減少による元金・利子償還の減少 (▲6,982万円)



平成28年度

たかはま
の決算

9月市議会定例会において、平成28年度の決算が認定されました。皆さんが納めた税金がどのように使われたのかをお知らせします。

決算総額

歳入 **247億 468万円**
(前年比0.8%増)

歳出 **235億7,606万円**
(前年比0.2%減)

一般会計

歳入 **150億5,011万円**
(前年比1.4%増)

歳出 **142億 571万円**
(前年比0.3%減)

特別会計

歳入 **86億6,889万円**
(前年比0.5%減)

<内訳>

国民健康保険事業	40億2,532万円
土地取得費	9,683万円
公共下水道事業	14億 561万円
公共駐車場事業	6,330万円
介護保険	26億1,354万円
後期高齢者医療	4億6,429万円

歳出 **82億5,747万円**
(前年比1.3%減)

<内訳>

国民健康保険事業	38億9,903万円
土地取得費	5,344万円
公共下水道事業	13億4,742万円
公共駐車場事業	2,227万円
介護保険	24億7,804万円
後期高齢者医療	4億5,727万円

企業会計(水道事業)
収益的収入 **8億8,037万円**
(前年比1.7%増)

収益的支出 **7億5,209万円**
(前年比2.3%増)

資本的収入 **1億 531万円**
(前年比7.3%増)

資本的歳出 **3億6,079万円**
(前年比35.6%増)

一人当たりの使われたお金

※ () 内は前年比

約**29万8千円**(6千円減)

民生費 12万9千円 (6千円増)	総務費 3万9千円 (5千円減)
衛生費 3万5千円 (増減なし)	教育費 3万1千円 (1千円減)
土木費 2万4千円 (2千円減)	公債費 1万9千円 (2千円減)
消防費 1万1千円 (1千円増)	商工費 5千円 (3千円減)
その他(農業・議会など) 5千円 (増減なし)	計算法 一般会計の歳出決算額 平成29年3月31日現在の人口47,661人

平成28年度 主要・新規事業の概要【決算】

一 般 会 計

2 款 総務費

- N o . 1 市役所本庁舎整備事業【継続】 22
- N o . 2 公共施設あり方計画推進事業
(高浜小学校整備事業支援業務委託)【継続】 24
- N o . 3 公共施設あり方計画推進事業
(勤労青少年ホーム跡地活用検討業務委託)【新規】 . . . 26
- N o . 4 総合住民情報管理事業
(総合窓口・総合住民情報システム業務委託(追加カスタマイズ分含む))【新規】・28
- N o . 5 防災活動事業(福祉避難所用防災資機材購入)【継続】 . . 30
- N o . 6 防災活動事業(防災専門員賃金等)【新規】 32

3 款 民生費

- N o . 7 社会福祉推進事業(子ども健全育成支援員報酬)【継続】・34
- N o . 8 いきいき広場管理運営事業(空調機等更新工事)【新規】・36
- N o . 9 老人保護措置事業
(養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助)【新規】 . . . 38
- N o . 10 生活困窮者自立支援事業(学習支援事業業務委託等)【継続】・40
- N o . 11 ひとり親家庭等生活支援事業(学習支援事業業務委託等)【新規】・42
- N o . 12 子育て支援コーディネーター事業【新規】 44

4 款 衛生費

- N o . 13 高浜エコハウス事業(高浜市商工会移転改修工事)【新規】・46

7 款 商工費

- N o . 14 経営近代化支援事業(高浜市商工会等物件移転補償)【新規】・48
- N o . 15 産業経済活性化事業(用地測量業務委託・整地工事)【新規】・50
- N o . 16 産業経済活性化事業(企業再投資促進補助)【継続】 . . . 52
- N o . 17 カワラでつながるミライ事業(地方創生加速化交付金事業)【新規】・54

8款 土木費

- №. 18 公園整備管理事業
(公園施設長寿命化計画策定業務委託) 【新規】 56

9款 消防費

- №. 19 消防団活動事業(消防団員家賃補助) 【継続】 58

10款 教育費

- №. 20 小学校維持管理事業
(小学校屋内運動場吊り天井等改修工事) 【継続】 60

- №. 21 小学校維持管理事業
(吉浜小学校グラウンド整備工事) 【新規】 62

- №. 22 生涯学習施設管理運営事業
(中央公民館解体工事) 【新規】 64

- №. 23 文化財保護事業(市誌編さん業務委託等) 【新規】 66

- №. 24 生涯スポーツ推進事業
(碧海グラウンド照明器具設備更新工事等) 【新規】 68

- №. 25 生涯スポーツ推進事業
((仮称) 高浜緑地多目的(スポーツ) 広場整備工事等) 【継続】 . 70

介護保険特別会計(保険事業勘定)

4款 地域支援事業費

- №. 26 生涯現役のまちづくり事業 【継続】 72

事業名等		市役所本庁舎整備事業【継続】				
担当グループ		総務部行政グループ				
総合計画区分		基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います	
予算区分		会計	一般会計	款	02総務費	
		事業名	05市役所本庁舎整備事業		目	11財産管理費
		事業名	05市役所本庁舎整備事業		予算計上	当初予算
アクションプラン		■該当する □該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了	
事業概要	事業の必要性・実施の背景	昭和52年2月に竣工した市役所本庁舎は、老朽化に加え、内外装や設備機器の不具合による劣化が激しく、また、新耐震基準に準拠していないため、「高浜市公共施設あり方計画（案）」においても、早急な対応が必要であると明記している。 締結した事業契約書に基づき、計画的に整備を進めていく必要がある。				
	目的（何のために）	市役所本庁舎の建設工事を計画的に進行するため、事業者との調整や協議を行い、設計に基づく進捗管理、工事の施工を行うため。				
	対象（誰・何を対象に）	市民				
	事業内容（手段・手法など）	【事業内容】 平成29年1月までに ◆事業者と事業に係る調整・協議を行う。（H28.4～H29.3） ◆実施設計に基づく備品・配置等の調整を行う。（H28.4～7） ◆庁舎引越し作業を計画的に行う。（H28.11～12） ◆新庁舎運営のモニタリング業務の実施（H29.1～3） ◆庁舎整備の実施（～H28.10） 【手段・手法】 ◆市役所本庁舎整備に係る支援業務を委託し、事業者との調整等を円滑に実施する。				
目指す成果（期待される効果）	☆下記の成果を達成するため、必要な業務要求水準等を基に、提案された内容の具現化を目指す。 ○市役所本庁舎について必要な機能・耐震性能の確保。 ○整備コストや将来の維持・管理コストの低減。 ○行政を取り巻く環境変化への対応や施設の有効活用。					

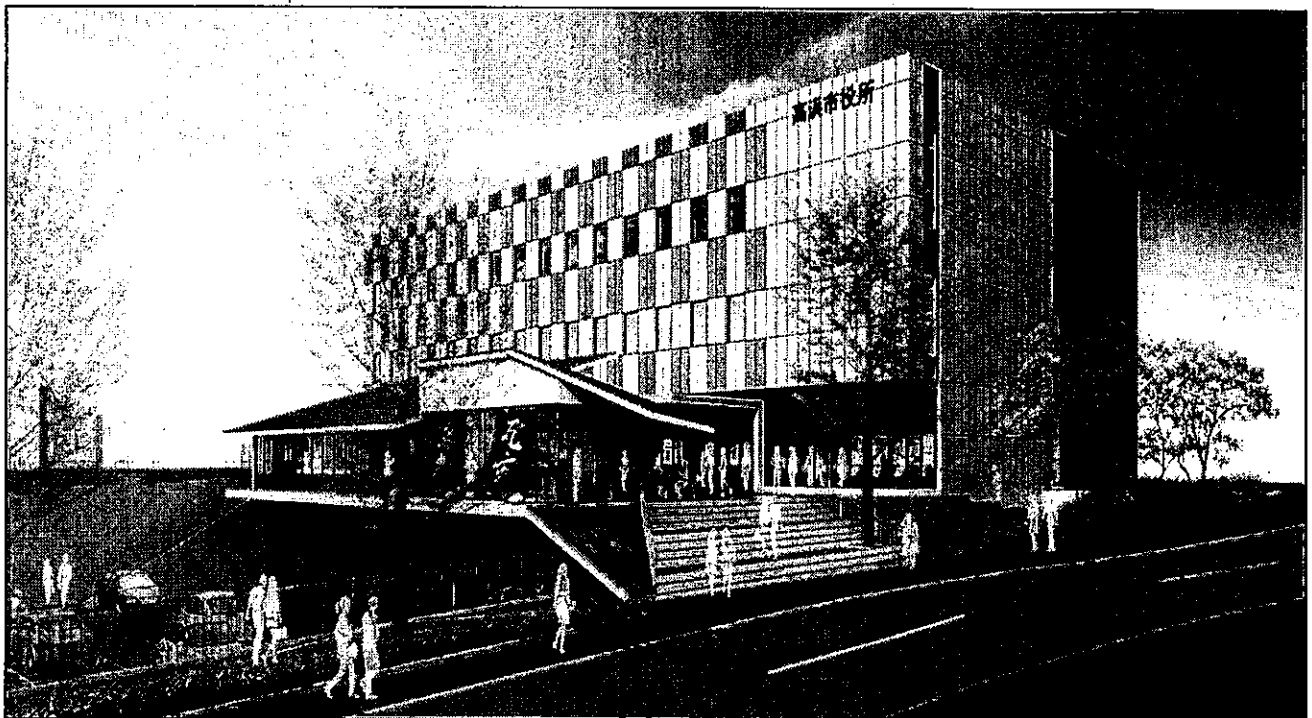
事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
平成28年度決算	184,425			184,425
決算内訳額の	・市役所本庁舎整備支援業務委託料 7,650千円 ・市役所本庁舎借上料 162,718千円 ・庁用器具費 6,318千円 ・消耗品費等 7,739千円			
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）			いつ
	①	工事工程や内容についての事業者との協議		H28.4～H29.3
	②	新庁舎に対応した適切な庁内文書量の削減		H28.4～H29.3
	③	新庁舎引越しに向けた什器・備品の整理		H28.4～H29.1
	④	旧庁舎から、新庁舎及びいきいき広場への引越し		H28.12
	⑤	供用開始後のモニタリングの実施		H29.1～H29.3
成果・実績	・工事工程や内容について定期的に協議を行い、建設工事を進めることができた。 ・全庁的に文書量の削減を実施し新庁舎にすべての文書を収納することができた。 ・庁舎の引越しを年末年始の間で円滑に実施し、当初の予定通り1月4日に供用を開始することができた。			

今後の方針等

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事工程について事業者と協議を行い、計画的に工事を進める必要がある。 ・ 2S活動を継続して実施していく必要がある。 						
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者と工事工程等について十分な協議を行うとともに、近隣住民に対して、工事に関する情報の提供に努める。 ・ 今後、文書量が増大しないよう、文書の電子化、ペーパーレス化などに取組む。 						
平 成 2 9 年 度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）				
		151,376 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	主 な 経 費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所本庁舎整備支援業務委託料 4,612千円 ・ 市役所本庁舎借上料 138,619千円 					151,376
実施内容 <small>（手段、手法など）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎の二期工事の実施 ・ 工事工程や内容についての事業者との協議 ・ 2S活動の継続 ・ チャレンジスペースの事業者選定 						

成 果 等 的 的 等

新庁舎完成イメージ図



事業名等	公共施設あり方計画推進事業（高浜小学校整備事業支援業務委託）【継続】							
担当グループ	総務部行政グループ							
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費
	事業名	06公共施設あり方計画推進事業			予算計上	当初予算		
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない		継続・終了区分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了				
事業概要	事業の必要性・実施の背景	老朽化が進む公共施設の今後の建替えや大規模修繕に対応すべく、白書から見てきた公共施設の現状と課題に基づき、今後40年間にわたる公共施設に係る費用を予測し、限られた財源・資産を有効に活用する必要がある。						
	目的 (何のために)	将来の公共施設の更新や大規模改修に必要な費用を把握し、長寿命化や施設機能の集約等により、サービス水準を低下させずに、公共施設の総量を圧縮するため。 高浜小学校を多様な学習環境への対応や、地域での多目的活用を含めた変化へ柔軟に対応できる学校施設に整備するため。						
	対象 (誰・何を対象に)	市民						
	事業内容 (手段・手法など)	【事業内容】平成29年3月までに ◆公共施設あり方推進本部会議（公共施設総合管理計画推進本部会議）、学校施設検討部会の運営及びサポート ◆高浜小学校等整備事業者の選定 (1) 募集資料の公表資料及び質問回答対応 (2) 説明会の開催 (3) 事業者の評価・選定 (4) 契約締結交渉 【手段・手法】 ◆高浜小学校等整備事業者を選定するため、公募支援業務を委託し、効率的な事業推進を行う。						
目指す成果 (期待される効果)	高浜市公共施設総合管理計画及びこれを踏まえた長期的な財政計画に基づき、公共施設の計画的な更新・大規模改修等が行われ、安定的な財政運営が行われている。 高浜市公共施設総合管理計画の複合化施設のモデルとなる高浜小学校の整備が実現することで、市民に今後の公共施設のあり方に対する関心が高まるとともに、問題意識が共有できている。							

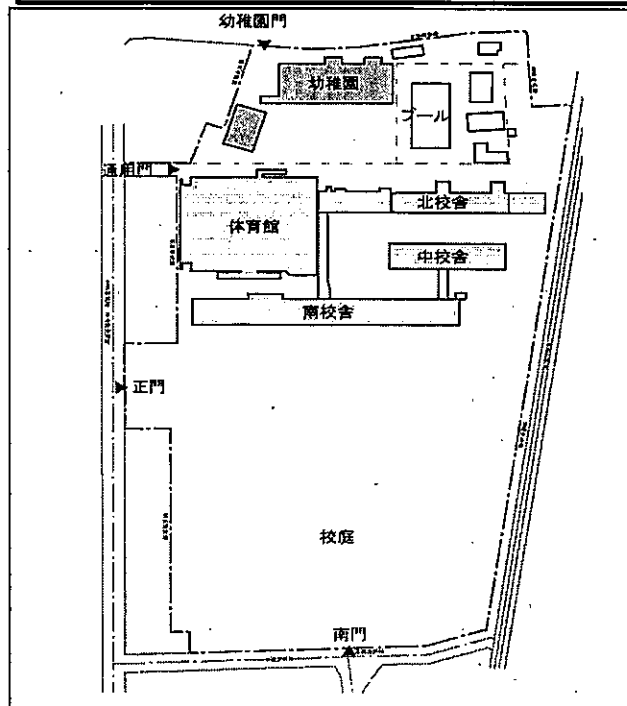
平成28年度 決算	事業費（決算額）	14,030 千円			
	財源内訳（単位：千円）				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
決算内訳額	・高浜小学校等整備事業支援業務委託料 14,030千円				
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)				いつ
	①	実施方針の公表			H28.4
	②	特定事業の選定及び公表			H28.6
	③	事業者の選定・決定			H28.12
	④	基本協定の締結			H29.1
	⑤	事業契約の締結			H29.3
成果・実績	・学校施設検討部会を適宜開催し、各部局間で検討したことにより、複合施設に求める条件整理を行った。 ・入札に係る資料の公表を行った。 ・落札事業者と協議を行い、基本協定及び事業契約の締結を行った。				
主要施策成果説明書該当ページ		64ページ			

今後の方針等

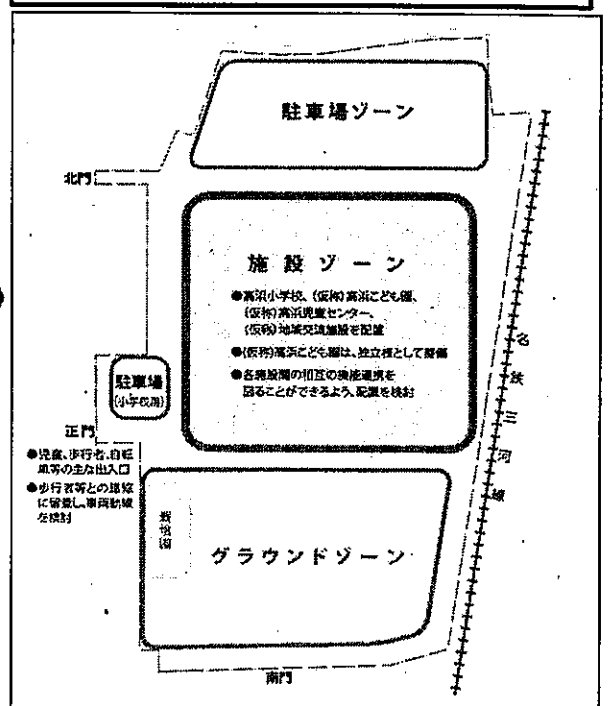
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の提案に基づき、設計内容の詳細部分や今後の運営について、教職員、施設利用者等との意見を踏まえた施設とする必要がある。 ・学校施設整備に係る補助金活用に向け、県と連携を図りながら進める必要がある。 ・工事工程について事業者と協議を行い、児童、教職員の安全を確保しながら工事を進める必要がある。 					
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からの提案に対し、小学校や複合施設に関する設計内容を教職員や施設利用者からの効率的な意見集約を図り、設計内容や運営方法に反映させる。 ・県との情報共有を図りながら、補助金制度活用に向けた協議を進める。 ・事業者と工事工程や内容について十分な協議を行うとともに、小学校内外について、工事に関する情報を周知し、児童教職員等の安全確保に努める。 					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		15,034 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜小学校等整備事業設計・建設モニタリング業務委託料 15,034千円 				
実施内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員・保護者への事業説明、意見交換 ・設計に伴うワークショップ ・基本設計、実施設計にかかる事業者との協議 ・一期工事の着手 					

新高浜小学校等イメージ図

現・高浜小学校等 建物配置図



新・高浜小学校等 ゾーニングイメージ図



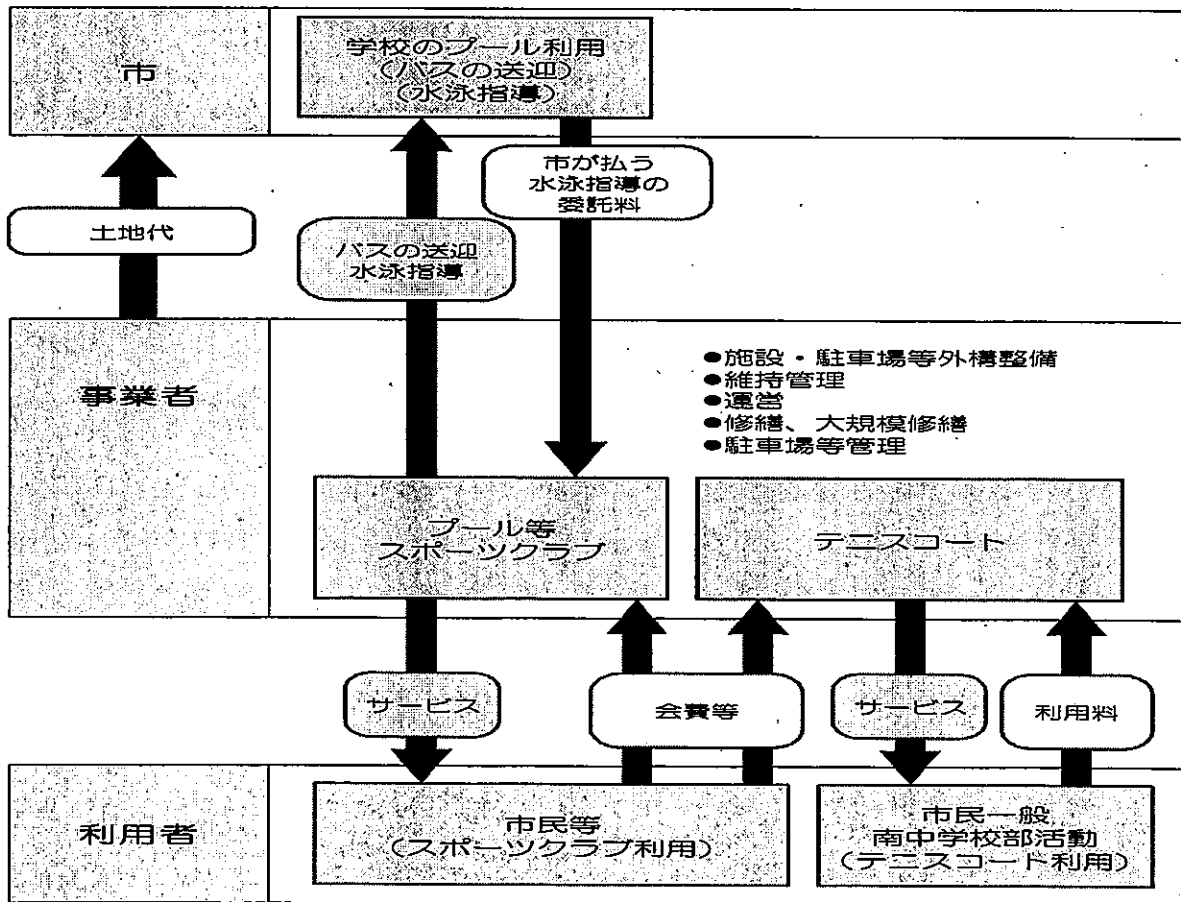
事業名等	公共施設あり方計画推進事業（勤労青少年ホーム跡地活用検討業務委託）【新規】							
担当グループ	総務部行政グループ							
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費
	事業名	06公共施設あり方計画推進事業			予算計上	6月補正予算		
アクションプラン	■該当する <input type="checkbox"/> 該当しない		継続・終了区分	■継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了				
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成27年度に策定した「公共施設総合管理計画」では、今後の社会情勢や景気の動向は、さらに厳しい財政状況が見込まれることを踏まえ、施設の総量圧縮により生じた未利用資産については、資産の売却や貸付などの方法について検討するとしている。勤労青少年ホームについては、機能移転や民間譲渡等を行う計画としていることから、これにより生じる跡地活用についての具体的な検討を進める必要がある。						
	目的 (何のために)	機能移転を進める勤労青少年ホームの跡地について、民間活力の導入によりスポーツ拠点施設として屋内プール、テニスコートなどの整備を行うことで、学校プールの民間委託による有効活用を含め、スポーツの拠点整備を図る。						
	対象 (誰・何を対象に)	市民						
	事業内容 (手段・手法など)	《実施内容》 ◆平成29年3月までに 事業者募集に向けた書類作成等の準備を行う。 (1)施設整備条件の検討 (2)民間事業者への意向調査 (3)基本方針（事業概要）の作成 (4)事業者募集の実施方法の検討 《手段・手法》 本事業の検討に係る支援業務を委託し、効率的な事業推進を行う。						
目指す成果 (期待される効果)	勤労青少年ホーム及びテニスコートを含めた一団の敷地について、民間資金による市民のスポーツ活動の拠点などに資する施設を整備することにより、未利用地活用のモデル事業として公共施設総合管理計画の推進力となる。							

平成28年度 決算	事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,947 千円		2,473			2,474
決算内訳	・勤労青少年ホーム跡地活用検討業務委託料 4,947千円					
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)					いつ
	①	施設整備条件の整理				H28.9~11
	②	事業方式等の検討				H28.9~H29.3
	③	サウンディング調査の実施				H29.10
	④	基本方針の作成				H29.3
	⑤	実施方針、募集要項案の検討				H28.12~H29.3
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> 勤労青少年ホームの土地・建物等の条件整理を行い、施設の現状を明確にした。 民間プールを活用した新たな水泳指導のあり方について教職員等と協議を行った。 市場調査を実施し、結果を事業の方針を決めるために活用した。 教育委員会、こども未来部、委託事業者等と協議を重ね、基本方針を作成した。 					

今後の方針等

課 題	・新たな水泳指導の活用による教育環境の維持・向上や資産の有効活用に向け、勤労青少年ホーム跡地に学校プール機能を含むスポーツ拠点施設を整備する事業者を、適切に選定する必要がある。					
今後の方針	・募集要項などの公募資料を確定し、勤労青少年ホーム跡地活用事業に向けた提案を募集する。 ・「勤労青少年ホーム跡地活用事業事業者選定委員会」において、提案審査を行う。平成30年3月までに跡地活用事業者を選定し、契約を締結する。					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		8,640 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	・勤労青少年ホーム跡地活用支援業務委託料 8,640千円				
実施内容 <small>（手段・手法など）</small>	・実施方針の作成・公表 ・募集要項、審査基準書等の作成 ・事業者の募集・選定					

事業スキーム



事業名等		総合住民情報管理事業（総合窓口・総合住民情報システム業務委託（追加カスタマイズ含む））【新規】			
担当グループ		企画部総合政策グループ			
総合計画区分		基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います
予算区分		会計	一般会計	款	02総務費
アクションプラン		事業名	01総合住民情報管理事業	項	01総務管理費
		目	14電算管理費	目	14電算管理費
		事業名	01総合住民情報管理事業	予算計上	当初予算、9月補正予算
アクションプラン		□該当する ■該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成24年4月から稼働している総合住民情報システムについては、平成29年3月に更新時期を迎えるため、平成28年度中に構築作業を実施する必要がある。また、更新時期については平成29年1月に庁舎移転があり、機器移設・ネットワーク構築等の関係から、システムをこの時期に合わせて更新することにより、一度にスムーズな移行が可能となる。 また、新システム稼働に向けた調整をした結果、一部の基幹業務において機能の追加を要するものが発生した。			
	目的（何のために）	市民の手続き等に係る利便性の向上及び市民総合窓口センターにおいて行われている窓口業務改善の取り組みの実現に向けた、総合窓口システムの導入を図る。また、システム運用においては、クラウドシステムの導入により、セキュリティの強化・職員の業務負担軽減を図る。 基幹業務の効率化のため、パッケージへの追加カスタマイズ等作業を実施する。また、稼働時期と繁忙期が重なる確定申告支援システムの先行稼働対応を実施する。			
	対象（誰・何を対象に）	市民及び職員			
	事業内容（手段・手法など）	<ul style="list-style-type: none"> 総合窓口・総合住民情報システム構築に向け、実施する内容は次のとおりである。 ①新システム構築 ②新庁舎ネットワーク構築 調達については、高浜市にとって有意義な提案を業者に求める公募型プロポーザル形式により実施。（平成27年12月実施、平成28年1月電子計算組織管理運営委員会承認） 本稼働に向けた構築作業を実施し、29年1月より新システム本稼働。 なお、新庁舎開庁に向け、窓口業務のあり方・実施方法等について、「新総合窓口システム構築プロジェクト」により、検討を行っていく。 ○追加カスタマイズ 高浜市の基幹業務において標準パッケージ機能以外で必要となるものについて、追加カスタマイズを実施し、既存システム機能の維持・向上等を図る。 			
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ○総合窓口システム導入による効果 ①わかりやすい窓口体系の実現 ②待ち時間の短縮 ③手続きの負担軽減 ○クラウドシステム導入による効果 ①災害時の業務継続 ②職員の業務軽減 ③セキュリティの強化 ④帳票アウトソーシングの推進 				

事業内容		事業成果				
事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成28年度決算	205,614 千円				205,614	
の内訳	<ul style="list-style-type: none"> 総合窓口・総合住民情報システム業務委託 164,487千円 総合窓口・総合住民情報システム業務委託（追加カスタマイズ分） 41,127千円 					
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）				いつ	
	①	27年度3月補正予算			H28.3	
	②	システム要件定義・構築作業等開始			H28.4	
	③	追加カスタマイズ等実施			H28.12	
	④	ネットワーク構築、総合窓口システム一部稼働(庁舎移転)			H29.1	
成果・実績	⑤ システム本稼働				H29.4	
	<ul style="list-style-type: none"> 総合住民情報システムの更新 新庁舎ネットワーク整備 総合窓口の開設・実施 証明書コンビニ交付システム構築 クラウドサービスの利用による住民情報のセキュリティ確保および防災対策 					

今後の方針等

<p>課 題</p>	<p>○コンビニ交付システム ・現在、証明書交付センターとの書類上の手続き、回線接続準備を進めている。 ・マイナンバーカード普及率があまり伸びていない。 ○総合窓口システム ・マイナンバーカードを用いたサービス（申請書自動作成等）の実施</p>																
<p>今後の方針</p>	<p>○コンビニ交付システム ・証明書コンビニ交付実現に向け、引き続き証明書交付センター及びシステム事業者との調整を実施していく。 ・コンビニ交付の開始及びマイナンバーカードの普及について、現在配布しているチラシも含め、普及啓発の実施を検討する。 ○総合窓口システム ・総務省及び愛知県への聞き取りを行う等、マイナンバーカード取り扱いに関する調査・研究を実施している。市民総合窓口センターやシステム事業者とも調整の上、実現に向けた準備を実施していく。</p>																
<p>平成29年度</p>	<p>当初予算</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="619 712 794 757">事業費（予算額）</th> <th colspan="4" data-bbox="794 712 1495 757">財源内訳（単位：千円）</th> </tr> <tr> <th data-bbox="619 757 794 801"></th> <th data-bbox="794 757 970 801">国庫支出金</th> <th data-bbox="970 757 1145 801">県支出金</th> <th data-bbox="1145 757 1321 801">地方債</th> <th data-bbox="1321 757 1495 801">その他 一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="619 801 794 824">53,340 千円</td> <td data-bbox="794 801 970 824"></td> <td data-bbox="970 801 1145 824"></td> <td data-bbox="1145 801 1321 824"></td> <td data-bbox="1321 801 1495 824">53,340</td> </tr> </tbody> </table>	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）					国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	53,340 千円				53,340
	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）															
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源													
53,340 千円				53,340													
<p>主な経費</p>	<p>①総合窓口・総合住民情報システム業務委託 48,276千円 ②総合窓口・総合住民情報システム業務委託（追加カスタマイズ分） 7,064千円</p>																
<p>実施内容 （手段、手法など）</p>	<p>①システム運用経費 ②H29分追加カスタマイズ経費</p>																

計 画	
事業名等	防災活動事業（福祉避難所用防災資機材購入）【継続】
担当グループ	都市政策部都市防災グループ
総合計画区分	基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう 個別目標 (9) 安全・安心が実感できる 地域づくりを進めます
予算区分	会計 一般会計 款 02総務費 項 01総務管理費 目 18防災対策費 事業名 01 防災活動事業 予算計上 当初予算
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない 継続・終了区分 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景 本市と「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結した福祉避難所に、避難者用及び施設用の防災資機材を整備する必要がある。
	目的 (何のために) 災害発生時の福祉避難所要配慮者等の安全・安心を確保するため、必要最小限の防災資機材の整備を図る。
	対象 (誰・何を対象に) 福祉避難所要配慮者等
	事業内容 (手段・手法など) ◇社会福祉法人知多学園 菟池デイサービスセンター、特別養護老人ホーム論地がてん、よしいけ保育園、吉浜保育園 ◇株式会社ケアマネージメント コミュニケアガーデン高浜 災害が発生した直後の福祉避難所要配慮者等の安心・安全確保のために、必要な防災資機材を購入し、各福祉避難所に配備する。 ・防災無線 ・防災倉庫 ・保存米 ・保存水 ・粉ミルク ・食器セット ・使い捨て哺乳瓶 ・紙おむつ など
目指す成果 (期待される効果)	福祉避難所要配慮者においては、災害時に安定した避難生活を送ることができるようになる。

事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
平成28年度 決算 2,610 千円				2,610
決 内 訳 額 の	<ul style="list-style-type: none"> ・備品購入費 1,812千円（防災倉庫、防災無線） ・資機材・食糧購入費 673千円（保存米、保存水、粉ミルク、食器セット、おむつ） ・使用料 125千円（電波利用料） 			
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)			いつ
	①	防災無線機を整備した。		H28.7
	②	資機材を整備した。		H28.7
	③	備蓄食糧品を整備した。		H28.8
	④	防災倉庫を整備した。		H29.3
⑤				
成果・実績	福祉避難所の要配慮者が安心して避難生活が送れるための、資機材等の整備ができた。			

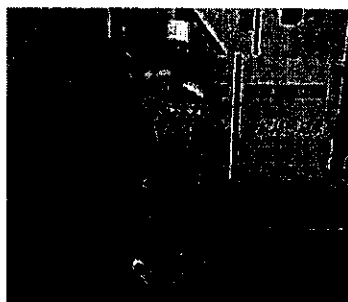
今後の方針等

課題		<ul style="list-style-type: none"> 賞味期限がある備蓄品をローリングストックする必要がある。 福祉避難所との備蓄品の活用方法等を含んだ防災訓練を実施する必要がある。 				
今後の方針		福祉避難所要配慮者がより安心して生活が送れるように「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」（内閣府H28.4作成）等を参考にし、また福祉避難所となる施設や関係グループとの連絡・調整を図りながら事業を進める。				
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		1,376 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 備品購入費 931千円（防災倉庫、防災無線） 資機材・食糧購入費 395千円（保存米、保存水、食器セット、おむつなど） 使用料 50千円（電波利用料） 				
実施内容 (手段、手法など)		平成28年度に新たに「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結した南部デイサービスセンター、地域共生型福祉施設あっぱの2施設に対して、防災倉庫、防災無線、備蓄食糧品、資機材を整備する。				

備蓄品写真



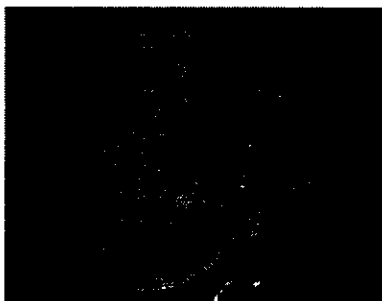
保存米



保存水



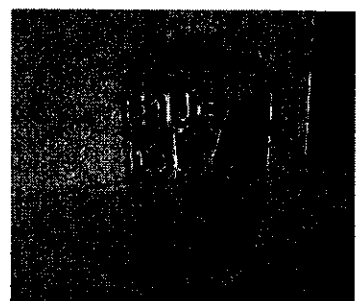
粉ミルク



食器セット



紙おむつ



使い捨て哺乳瓶

計 画	
事業名等	防災活動事業（防災専門員賃金等）【新規】
担当グループ	都市政策部都市防災グループ
総合計画区分	基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう 個別目標 (9) 安全・安心が実感できる 地域づくりを進めます
予算区分	会計 一般会計 款 02総務費 項 01総務管理費 目 18防災対策費 事業名 01防災活動事業 予算計上 6月補正予算
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない 継続・終了区分 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景 この地域で発生が危惧されている南海トラフ巨大地震を始めとした災害に備えるべく、新たに幅広い知識や現場経験を持つ者を採用し、災害に対する施策を展開していくことで、市民一人ひとりの防災力、職員の災害対応力等を高めていく必要がある。
	目的 (何のために) 知識に加え、東日本大震災を始めとした災害現場での経験が豊富である退官自衛官を「防災専門員」として採用し、各種計画及びマニュアル等の見直しや防災訓練等を実施する中で、市民及び職員の災害に対する意識の高揚や体制づくり等を図り、災害に強いまちづくりを構築していくため。
	対象 (誰・何を対象に) 市民及び職員
	事業内容 (手段・手法など) (勤務日時) 月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分 (主な従事内容) ・高浜市地域防災計画等各種計画の改訂 ・危機管理マニュアル等各種マニュアルの改訂 ・職員及び市民に対する防災訓練の企画・実施 ・自主防災組織の育成・連携 ・市民等を対象とした防災講話の実施
目指す成果 (期待される効果) 各種計画やマニュアル等に沿った実効性のある防災訓練等が実施される中で、市民や職員の危機管理意識も高まり、自助・共助・公助を意識した防災対策・災害対応が図られている。	

事業内容		事業の経費				
事業費(決算額)	財源内訳(単位:千円)					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成28年度 決算	5,155 千円			17	5,138	
決算 内訳額 の	・臨時職員賃金(H28.7.1~) 4,464千円 ・社会保険料(H28.7.1~) 691千円					
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)				いつ	
	①	市民・団体・企業等を対象とした防災講話を実施した。			H28.7~	
	②	危機管理マニュアルの内容等について、全グループと意見交換を実施した。			H28.10~	
	③	高浜市地域防災計画を改訂した。			H28.12~	
	④	高齢者施設や保育園が行う防災訓練へのアドバイス等を行った。			H29.1~	
	⑤	避難勧告等の判断・伝達マニュアル等を改訂した。			H29.2~	
成果・実績	現役時に培った知識や経験を踏まえ、各グループで策定している危機管理マニュアルの内容等について、個別に意見交換を実施したことで、各グループと都市防災グループ間での情報共有、必要に応じたマニュアルの見直し等を図ることができ、より実効性のあるマニュアルの整備に向けて取り組むことができた。					

今後の方針等

<p>課 題</p>	<p>「何かあれば行政がやってくれる。」と言った考えを持つ市民が多いのが実情である。これまでの災害を見ても、特に初動時においては、規模が大きいほど「公助」の対応には限界があり、このような現状を踏まえ、経験談を交えた防災講話等を実施する中で、市民一人ひとりの「自助」「共助」に対する意識を高めていく必要がある。 また、職員に対しても、現役時代に培ったノウハウを活かした訓練等を企画し、継続して訓練を実施する中で、組織としての災害対応力を高めていく必要がある。 更に、訓練等を実施する中で、実効性のある計画やマニュアルづくりに努めていく必要がある。</p>				
<p>今後の方針</p>	<p>平成28年度に実施した各グループとの意見交換を踏まえ、改訂した危機管理マニュアルに基づき、各部局単位で実動訓練を実施する中で、マニュアルの検証・必要に応じた見直しを進めていく。 実動訓練の結果等を踏まえ、危機管理マニュアルとは別に、初動時に対応すべき業務の優先順位や内容等を示した「職員初動対応マニュアル」を策定する。</p>				
<p>平成29年度</p>	<p>当初予算</p>	<p>事業費（予算額）</p>	<p>財源内訳（単位：千円）</p>		
		<p>7,471 千円</p>	<p>国庫支出金</p>	<p>県支出金</p>	<p>地方債</p>
<p>主な経費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金 6,449千円 ・社会保険料 1,022千円 				
<p>実施内容 (手段、手法など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向け実動訓練を企画・実施する。（全体訓練・個別訓練） ・職員初動対応マニュアル等各種マニュアルを策定・改訂する。 ・高浜市地域防災計画等各種計画を改訂する。 ・高齢者施設・保育園等が行う防災訓練へのアドバイス・指導を行う。 ・市民等を対象とした経験談に基づく防災講話等を実施する中で「自助」「共助」の重要性について、市民一人ひとりの意識の向上を図る。 				

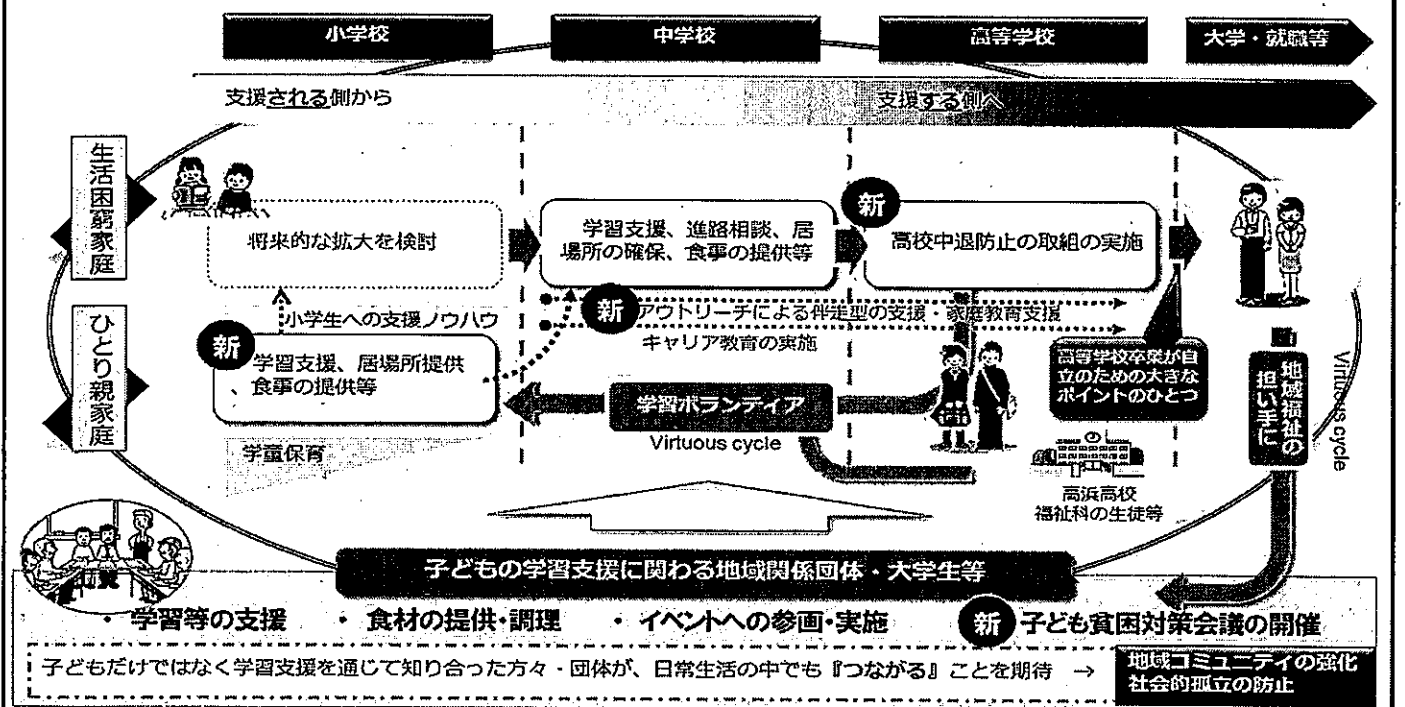
事業名等		社会福祉推進事業（子ども健全育成支援員報酬）【継続】				
担当グループ		福祉部地域福祉グループ				
総合計画区分		基本目標	IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう	個別目標	(10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます	
予算区分		会計	一般会計	款	03民生費	
		事業名	01社会福祉推進事業		目	02地域福祉推進費
アクションプラン		■該当する □該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了	
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の貧困率16.3%(平成24年)、子供がいる世帯のうち大人が一人の貧困率54.6%(平成24年)、生活保護世帯に属する子供の高等学校等進学率90.8%(平成25年) ・子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないように、早い段階からのアウトリーチも含めた相談支援体制を強化するために、その相談支援を中心的に担う子ども健全育成支援員を増員(1人→2人)する必要がある。 				
	目的(何のために)	生活保護世帯、生活困窮世帯等の子どもが大人になっても生活困窮状態から脱することができないという『貧困の連鎖』を防止し、また、若者のひきこもりやニートなどによる『新たな貧困』を発生させないようにするため、子どもや若者が抱えている様々な問題(進学、就職、不登校、ひきこもり等)の相談に応じ、必要な支援につなげることで、将来に対する希望の格差を解消するため。				
	対象(誰・何を対象に)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯、生活困窮世帯等の子ども及び若者 ・不登校、高校中退、ひきこもり等の子ども及び若者 				
	事業内容(手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 子ども健全育成支援員2名による家庭訪問を通じた個別相談(アウトリーチ)及び支援(強化) ・4月～ 生活保護世帯、生活困窮世帯等の中学生への学習等支援事業の運営支援 生活保護世帯、生活困窮世帯等の高校生の学習等支援事業への運営支援(新規) ・6月～ ひとり親世帯の小学生への学習支援、食事の提供などの居場所づくり事業の運営支援(新規) 				
目指す成果(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども及び若者の社会的孤立の防止 ・生活保護世帯、生活困窮世帯等の子どもの高校進学 ・生活困窮世帯、ひきこもり等の若者の就職 					

		事業内容 事業実績					
平成28年度決算	事業費(決算額)	財源内訳(単位:千円)					
	4,415 千円	国庫支出金	2,855	県支出金	地方債	その他	一般財源
決内算取額の	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 4,095千円 ・賃金 320千円 						
スケジュール(実績)	何を・どのように・どうした(内容)						いつ
	①	子ども健全育成支援員2名による家庭訪問を通じた個別相談					通年
	②	生活保護世帯、生活困窮世帯等の中学生への学習等支援事業の運営支援					H28.4～
	③	生活保護世帯、生活困窮世帯等の高校生の学習等支援事業への運営支援(新規)					H28.4～
	④	生活困窮世帯、ひきこもりの若者への就労支援					H28.4～
⑤	ひとり親世帯の小学生への学習支援、居場所づくり事業の運営支援(新規)					H28.6～	
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・継続支援ケース28件 ・ひきこもり等の若者の就職(10名) ・ステップ参加中学3年生9名の進学等 ・ステップ参加高校生9名の中退防止 						

今後の方針等

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談ケースの増加、支援ケースの長期化が顕著となっている。 ・支援ケースを就職につなげることが主要な目的であるが、ケースの多くが以前に不登校を経験しており、社会的自立に難があり継続的な就職につながりにくい。 					
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の2人体制を維持し、アウトリーチによる伴走型の支援を行い、要支援者の社会的自立に向けた支援を継続していく。 					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
		4,680 千円	3,055			
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 4,680千円 				
実施内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 子ども健全育成支援員2名による家庭訪問を通じた個別相談（アウトリーチ）及び支援 ・4月～ 生活保護世帯、生活困窮世帯等の中学生への学習等支援事業の運営支援 生活保護世帯、生活困窮世帯等の高校生の学習等支援事業への運営支援 生活困窮世帯、ひきこもりの若者への就労支援 ひとり親世帯の小学生への学習支援、居場所づくり事業の運営支援 					

子どもの学習支援を通じた循環型地域社会の形成



事業名等		いきいき広場管理運営事業（空調機等更新工事）【新規】	
担当グループ		福祉部地域福祉グループ	
総合計画区分		基本目標 I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標 (2) 将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います
予算区分		会計 一般会計 款 03民生費 項 01社会福祉費 目 02地域福祉推進費 事業名 02いきいき広場管理運営事業 予算計上 当初予算	
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	継続・終了区分 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成8年4月のいきいき広場オープンから20年が経過し、空調機器の耐用年数である15年を経過している。2台で交互運転している3階の空調機のうち1台が故障し修繕の依頼をしたが部品の製造が中止されており、修繕出来ず1台の空調機で運転している。部品がないため修理できない故障が発生することが予想される。市役所庁舎移転に伴い、教育委員会とこども未来部の執務場所がいきいき広場になるため3階空調の使用頻度が上がることが予想される。	
	目的 (何のために)	いきいき広場の空調機器等の更新	
	対象 (誰・何を対象に)	いきいき広場利用者及び市民	
	事業内容 (手段、手法など)	いきいき広場における空調機器について省エネタイプのものに更新する。 いきいき広場2階いきいきホールの照明をLEDタイプに更新する。	
目指す成果 (期待される効果)	経費削減 ・ランニングコストの削減 ・修繕費の削減、修繕に係る職員人件費の削減		

事業内容 事業概要		財源内訳 (単位:千円)				
平成28年度 決算	事業費 (決算額)	99,900 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	決算額の 内訳	・空調機器等更新一式 99,900千円 空調機器更新 一式 いきいきホール照明更新 一式				
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした (内容)					いつ
	①	プロポーザル方式による業者選定				H28.4
	②	契約、着工				H28.5
	③	一部供用開始				H28.12
	④	しゅん工				H29.2
⑤						
成果・実績	光熱水費の削減額 (前年度比△2,722,728円) 電気: 使用量△0.6%、請求額△12.8%、△1,353,954円 ガス: 使用量△0.4%、請求額△28.5%、△1,367,064円 水道: 使用量+0.3%、請求額△ 0.2%、△ 1,710円					

計 画

事業名等	老人保護措置事業（養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助）【新規】			
担当グループ	福祉部福祉まるごと相談グループ			
総合計画区分	基本目標	IV	いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう	個別目標 (10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます
予算区分	会計	一般会計	款	03民生費
	事業名	07老人保護措置事業		目
				05高齢者在宅・施設介護費
	予算計上	9月補正予算		
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		継続・終了区分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	環境上の理由や経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な人に対し、市は養護老人ホームの入所の措置を採らなければならないとされており、市は措置先として社会福祉法人へ依頼している。		
	目的（何のために）	現在の養護老人ホームは建物の老朽化が進んでいる。また、プライバシー確保のための2人部屋の解消やバリアフリーへの対応など、入所者の生活環境の向上を図るため、施設整備を行う社会福祉法人に補助金を交付する。		
	対象（誰・何を対象に）	65歳以上の高齢者		
	事業内容（手段、手法など）	<p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築場所 豊田町三丁目1番地15（現行敷地） ・定員 50人（個室） ・構造 鉄骨造3階建 ・延べ床面積 1,870.55㎡ ・建築予定年月 平成29年10月 ・施設整備費 6億4,800万円 ・市補助額 2億4,000万円（6,000万円×4年間） <p>措置先である社会福祉法人が施設を建替えるに当たり、愛知県補助金が採択されたことを受け、市も補助金を交付し、建替を支援する。</p>		
目指す成果（期待される効果）	居室の建替に伴うユニット化により、高齢者の尊厳保持が図られるとともに、施設内の狭い廊下や段差が解消され、入所者が快適な生活を送ることが出来る。			

実施内容 事業成果

平成28年度 決算	事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）			
	60,000 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
決算額の	・養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助金（1回目） 60,000千円				
スケジュール （実績）	何を・どのように・どうした（内容）		いつ		
	①	建替え工事入札により工事費が確定（施設整備費 648,000千円）	H28.7		
	②	施設整備費補助について、9月議会上程（補正及び債務負担行為）	H28.9		
	③	補助金交付決定 240,000千円（60,000×4年間、H28～H31年度）	H28.12		
	④	平成28年度工事進捗状況について確認（進捗率42.1%）	H29.3		
	⑤	補助金交付請求書に基づき平成28年度補助金支出	H29.5		
成果・実績	居室の建替に伴うユニット化、施設内の狭い廊下や段差の解消により入所者が快適な生活を送ることが出来るよう建替え工事に対して市補助金を支出した。 *工事進捗率42.1%				

今後の方針等

課題		・新しい養護老人ホーム高浜安立へのスムーズな移行				
今後の方針		・生活環境の変化による入所者へのサポート				
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		60,000 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	・養護老人ホーム施設整備費補助金（2回目） 60,000千円				
実施内容 (手段、手法など)		養護老人ホーム施設整備費補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。				

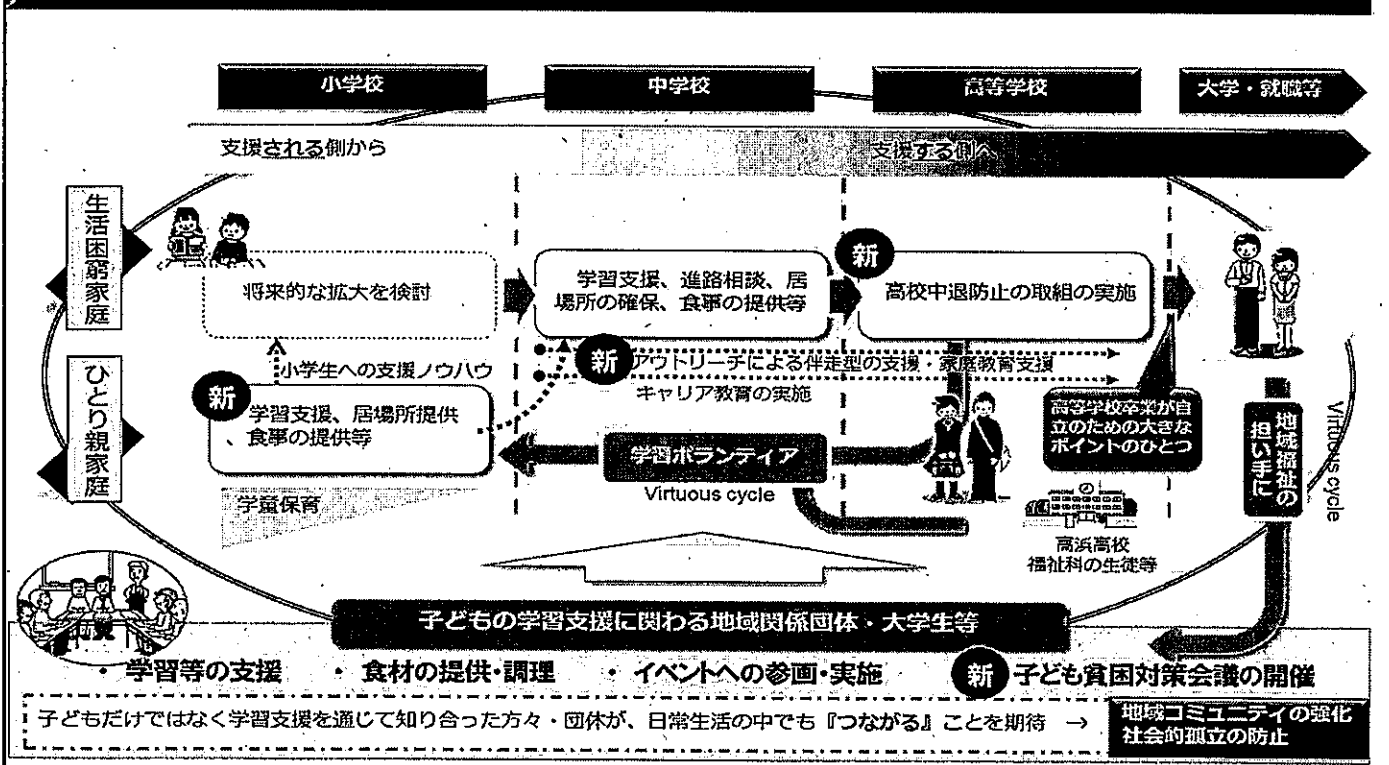
計 画	
事業名等	生活困窮者自立支援事業（学習支援事業業務委託等）【継続】
担当グループ	福祉部地域福祉グループ
総合計画区分	基本目標 IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう 個別目標 (10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます
予算区分	会計 一般会計 款 03民生費 項 01社会福祉費 目 08生活援助費 事業名 05生活困窮者自立支援事業 予算計上 当初予算
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない 継続・終了区分 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景
	目的（何のために）
	対象（誰・何を対象に）
	事業内容（手段、手法など）
目指す成果（期待される効果）	

事業内容		事業費等				
事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成28年度決算	8,054	3,300			4,754	
決算内訳額の	<ul style="list-style-type: none"> ・こども貧困対策会議委員謝礼 116千円 ・学習支援事業業務委託料 7,938千円 					
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）				いつ	
	①	こども貧困対策会議の開催			H28.6、H28.10	
	②	中学生・高校生への学習支援事業の実施			通年	
	③					
	④					
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○こども貧困対策会議の開催（6月28日、10月26日） <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮家庭等の子どもに対する支援の在り方、今後の支援の取組の方向性を検討。 ○学習支援事業（ステップ） <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数 36人（中学生 27人、高校生 9人） ・参加延べ人数 926人（1回当たりの参加者数 14.9人） ⇒希望の進路支援、高校中退防止。					
	⑤					

今後の方針等

課 題	<p>○ステップと学校、家庭との連携体制の構築</p> <p>・子どもたちの健やかな成長を育むためには、「学校」や「家庭」とも連携を密にし、必要な情報を相互に共有し、多面的・多角的な視点からその支援方策等を考えることが必要とされている。</p>					
今後の方針	<p>・市内の小・中・高校の校長先生や利用者の保護者が委員として参画している「こども貧困対策会議」において、「学校」「家庭」と生徒の情報共有・連携のための実効性のある仕組みを検討し、着手可能なものから、実行に移していく。</p>					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
	主な経費	7,724 千円	国庫支出金 3,803	県支出金	地方債	その他 3,921
実施内容 (手段・手法など)	<p>・こども貧困対策会議開催（5月、12月）</p> <p>・学習支援事業（ステップ）実施（通年）</p>					

子どもの学習支援を通じた循環型地域社会の形成



計 画	
事業名等	ひとり親家庭等生活支援事業（学習支援事業業務委託等）【新規】
担当グループ	福祉部介護保険・障がいグループ
総合計画区分	基本目標 II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう 個別目標 (5) 地域ぐるみで子育て・子育てを支えます
予算区分	会計 01一般会計 款 03民生費 項 02児童福祉費 目 03家庭支援費 事業名 04ひとり親家庭等生活支援事業 予算計上 当初予算
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない 継続・終了区分 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景
	目的（何のために）
	対象（誰・何を対象に）
	事業内容（手段、手法など）
目指す成果（期待される効果）	

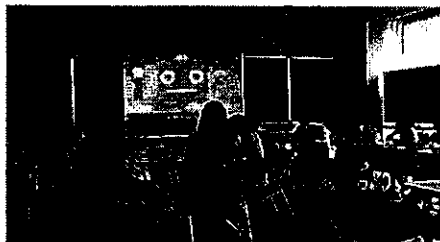
事業内容											
平成28年度決算	事業費（決算額）										
	財源内訳（単位：千円）										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,949</td> <td>5,961</td> <td></td> <td></td> <td>1,988</td> </tr> </tbody> </table>	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	7,949	5,961			1,988
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
7,949	5,961			1,988							
	決算内訳の ・学習支援事業業務委託料 6,178千円 ・循環運行業務委託料 500千円 ・自動車借上料 1,037千円 ・食事提供業務委託料 234千円										
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）										
	① 株式会社スターシャル教育研究所と業務契約を行った。										
	② 子ども健全育成支援員が中心となり、各小学校を通じて事業のPRを行った。										
	③ ひとり親家庭の子どもの学習支援事業「あすたか」をいきいき広場を拠点としてスタートした。										
	④ 南部まち協をはじめ地域の方々の協力を得て、体験講座を実施した。										
⑤ サポーターとして活躍した高浜高校及び学生に対し、市長から感謝状等を贈った。											
成果・実績	○活動実績等 ・実施回数 92回 ・利用決定児童数 18名（4年生：7名 5年生：6名 6年生：5名） ・参加延人数 868人 ・学生サポーター参加延人数 251人 ・体験講座 26回 ・「あすたか通信」発行 9回 ○成果 ・ひとり親家庭の子どもの安心して集い、学習支援等を受けることができる「新たな居場所」が創出できた。 ・楽しみながらお互いに学び合うことで、学習意欲が向上し、学習習慣が身についた。 ・地域の方々や学生サポーターと交流することで、社会性が高まった。										
主要施策成果説明書該当ページ	142ページ										

今後の方針等

課 題	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の状況に地域間のばらつきがある。(利用決定者数<28年度> 翼小：12人 高取小：3人 吉浜小：2人 港小：1人 高浜小：0人) 実施日数が多い、実施時間が長いなど、子どもたちが集中して学習に取り組めていない時がある。 学生サポーターの確保が困難な時がある。 					
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の状況を考慮し、実施場所を変更する。 子どもたちが集中して学習に取り組むことができるように、実施日や実施時間など実施内容を見直す。 高浜高校と協働し、人材確保策を検討する。 					
平成29年度	当初予算	事業費(予算額)	財源内訳(単位：千円)			
		5,188 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援事業業務委託料 5,188千円 				
実施内容 (手段、手法など)	<p>【実施時期】平成29年4月から(ただし、夏・冬・春休みは除く。)</p> <p>【実施場所】翼小学校等</p> <p>【支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題や勉強、体験学習などを行い、学習習慣・生活習慣を確立する(週2日：月・木曜日) ※翼小学校区以外の子は送迎を実施する。 					

成果発表等(児童発表)

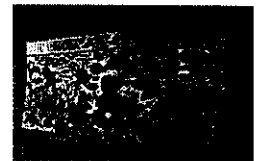
学習支援



体験学習

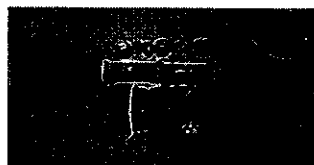


工作で学ぶ昆虫の仕組



巨大水族館を作ろう

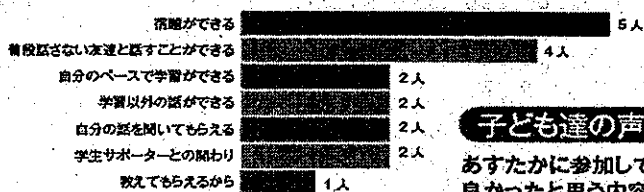
夕食、おやつの提供



筆を使おう



凧を作ろう、飛ばそう



勉強が少しできるようになった 仲の良い友達がいるからまた参加したい 楽しい宿題もできる 生活のリズムが増えた 友達が増えて楽しい

人見知りや怖がりなくなった 宿題を減らしてやるようになった 積極的に関わってきた あすたかのことでたくさん話をする 仕事が多いとき安心できる

事業名等		子育て支援コーディネーター事業【新規】			
担当グループ		こども未来部こども育成グループ			
総合計画区分		基本目標	Ⅱ 学び合い力を合わせて豊かな未来を育もう	個別目標	(5) 地域ぐるみで子育て・子育てを支えます
予算区分		会計	一般会計	款	03民生費
				項	02児童福祉費
				目	03家庭支援費
		事業名	15子育て・家族支援ネットワーク事業		予算計上
					当初予算
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない		継続・終了区分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	子ども・子育て支援法第59条第1号に基づき、子どもとその保護者が、さまざまな教育・保育・その他の子育て支援事業の中から適切なサービスを選択するため、情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行う「利用者支援事業」を実施する。			
	目的(何のために)	一人一人の子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与し、子育て家庭の悩みの相談や、待機児童の解消等を図るため、子育てに関する情報提供や相談受付を集約して、常時受け付けができる体制を整えることにより、子育てや保育に関するサービスや施設を円滑に利用できるよう支援するため。			
	対象(誰・何を対象に)	子育て家庭			
	事業内容(手段・手法など)	子育て・家族支援者養成講座(利用者支援コース)を修了している職員を、子育て支援コーディネーターとして窓口を設置し、子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業(特定型)を実施する。 《実施内容》 ①利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設や子育て支援施設等を円滑に利用できるように実施する。 ②子育て支援ネットワークポータルサイトやメールマガジン、チラシ、広報、その他広告媒体を活用し、積極的な広報・啓発活動を実施し、サービス利用者に広く周知を図るものとする。 《実施時期》 通年			
目指す成果(期待される効果)		子育て家庭の不安や孤立化、仕事と子育ての両立などさまざまな悩みが軽減・解消され、子育てや保育に関するサービスや施設を円滑に利用できるようになる。			

事業内容		事業成果				
事業費(決算額)	財源内訳(単位:千円)					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成28年度決算	2,356千円	782	782	8	784	
決算内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料 299千円 ・雇用保険料 19千円 ・臨時職員賃金 2,038千円 					
スケジュール(実績)	何を・どのように・どうした(内容)				いつ	
	①	子育て支援コーディネーターを窓口を設置(利用者支援事業(特定型))			H28.4~	
	②	情報の集約・提供、相談、利用支援の実施			H28.4~	
	③					
	④					
	⑤					
成果・実績	子育て支援コーディネーターを窓口を設置し、子育てや保育に関するサービスや施設を円滑に利用できるよう相談、及び、情報提供することにより子育て家庭の不安や孤立化、仕事と子育ての両立などさまざまな悩みを軽減・解消を図ることが出来た。					

今後の方針等

課題	引き続き、子育て家庭の不安や孤立化、仕事と子育ての両立などさまざまな悩みが軽減・解消され、子育てや保育に関するサービスや施設を円滑に利用できるように、利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行う。				
今後の方針	引き続き、子育て家庭の不安や孤立化、仕事と子育ての両立などさまざまな悩みが軽減・解消され、子育てや保育に関するサービスや施設を円滑に利用できるように支援する。				
当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
	2,466 千円	国庫支出金 819	県支出金 819	地方債	その他 9 一般財源 819
実施内容 (手段、手法など)	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料 323千円 ・雇用保険料 24千円 ・臨時職員賃金 2,119千円 			
	<p>子育て支援コーディネーターを窓口配置し、子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業（特定型）を実施する。</p> <p>《実施内容》</p> <p>①利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設や子育て支援施設等を円滑に利用できるように実施する。</p> <p>②子育て支援ネットワークポータルサイトやメールマガジン、チラシ、広報、その他広告媒体を活用し、積極的な広報・啓発活動を実施し、サービス利用者に広く周知を図るものとする。</p> <p>《実施時期》 通年</p>				

平成29年度

事業名等		高浜エコハウス事業（高浜市商工会移転改修工事）【新規】			
担当グループ		都市政策部地域産業グループ			
総合計画区分		基本 目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別 目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います
予算区分		会計	一般会計	款	04衛生費
				項	01保健衛生費
				目	04環境保全推進費
		事業名	01高浜エコハウス事業		予算計上
					6月補正予算
アクションプラン		□該当する ■該当しない		継続・終了区分	□継続実施 ■28年度で終了
事業概要	事業の 必要性・ 実施の背景	中央公民館に併設されている高浜市商工会館が中央公民館の廃止に伴い取り壊されることとなるため、高浜市商工会の事業を継続するために移転先を決定する必要がある。			
	目的 (何のために)	高浜市商工会の移転においては既存の市内公共施設のなかより移転先を選択することが、高浜市商工会の活動の継続性を妨げずにスムーズに移設するために必要である。そのため、既存公共施設のなかで、現商工会館に隣接している高浜エコハウスへの移転が一番効果的であると考えられる。 そのために、高浜エコハウス・高浜市商工会の双方の事業継続性を担保し、既存施設の効果的な活用を行うために必要な改修を行う。			
	対象 (誰、何を対象に)	高浜市商工会・高浜エコハウス利用者			
	事業内容 (手段、手法など)	【改修内容】 ・1階および3階において、現在実施している事業に影響を及ぼさないよう配慮しながらも、高浜市商工会の事業継続が可能な改修を行う。			
目指す成果 (期待される効果)		既存施設を改修することで、スムーズな事務所機能の移転が可能となり、高浜市商工会が実施する商工業振興事業に支障をきたさずに移転を完了することができる。 また、高浜市商工会の会員の多くが中小企業経営者であり、高浜市商工会が移転する環境学習施設に多く訪れることになり、環境行政としても事業所、商店などの中小企業者を対象とし、新たな取り組みを効果的に進めることが可能となる。			

事業内容		事業費				
事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成28年度 決算	11,988 千円				11,988	
決 内 訳 額 の	改修工事 ・工期：平成28年8月2日～平成29年3月24日 ・高浜市商工会移転改修工事費：11,988千円					
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)				いつ	
	①	改修工事費予算計上(6月議会上程)				H28.6
	②	改修工事入札・事業者決定				H28.7
	③	改修工事 工事着手				H28.8
	④	改修工事 工事完了				H29.3
	⑤					
成果・実績		改修工事を進めるうえで、不測の事態も生じたが、年度内に改修工事が完了したことにより、高浜市商工会が高浜エコハウスにスムーズに移転することができた。				

事業名等		経営近代化支援事業（高浜市商工会等物件移転補償）【新規】			
担当グループ		都市政策部地域産業グループ			
総合計画区分		基本 目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別 目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います
予算区分		会計	一般会計	款	07商工費
アクションプラン		事業名		04経営近代化支援事業	目
		予 算 計 上		01商工費	02商工業振興費
		事 業 名		04経営近代化支援事業	6月補正予算
		口該当する		継続・終了区分	継続実施
		口該当しない		口28年度で終了	
事業概要	事業の 必要性・ 実施の背景	取り壊しが予定されている中央公民館に併設されている高浜市商工会館に入居している高浜市商工会及び入居団体である高浜ライオンズクラブ、高浜青年会議所及び愛知県コンクリート製品協同組合西三河支部がスムーズに移転を行えるように移転に伴い生じる費用を補償するとともに、保有財産の減失に伴う補償を行う必要がある。			
	目的 (何のために)	取り壊しが予定されている中央公民館に併設されている高浜市商工会館に入居している団体に対し必要な補償を行う。			
	対象 (誰・何を対象に)	高浜市商工会、高浜ライオンズクラブ、高浜青年会議所、 愛知県コンクリート製品協同組合西三河支部			
	事業内容 (手段、手法など)	高浜市商工会の資産台帳に管理をされている資産のうち、取壊しにより減失する建物及び建物に付随する設備の残存価格相当額の補償及び、移転することにより生じる費用、補償を行う。 また、高浜市商工会館の入居者である3団体においても移転により生じる費用、補償を行う。			
目指す成果 (期待される効果)	移転に必要な費用を補償することにより、取壊し期限内でのスムーズな移転が実現される。 また、対象団体の移転後の事業の継続性を担保することが可能となる。				

事業費(決算額)	財源内訳(単位:千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成28年度 決算	40,029				40,029
決算 内訳 額の 内訳	・高浜市商工会：36,890千円 ・高浜ライオンズクラブ：610千円 ・高浜青年会議所：2,059千円 ・愛知県コンクリート製品協同組合西三河支部：470千円				
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)				いつ
	①	愛知県コンクリート製品協同組合西三河支部移転完了			H28.7
	②	高浜青年会議所移転完了			H29.3
	③	高浜ライオンズクラブ移転完了			H29.3
	④	高浜市商工会移転完了			H29.4
⑤					
成果・実績	移転に必要な費用を補償することにより、中央公民館の取壊し開始までにスムーズな移転が実現された。 また、対象団体の移転後の事業の継続性を確保することができた。				

今後の方針等

課 題	<ul style="list-style-type: none"> 高浜市商工会においては平成28年度中の移転が難しいため、移転補償費の完了時支払補償料15,817千円を平成29年度へ繰越明許を行った。 				
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 高浜市商工会においては平成28年度中の移転が難しく、平成29年4月上旬の移転完了となった。 移転完了後に支払う補償料は平成29年4月末に支出をしており事業は完了している。 				
平成29年度	事業費（予算額） 15,817 千円	財源内訳（単位：千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
					一般財源 15,817
当初予算	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 高浜市商工会移転補償費（残金） 15,817千円（繰越明許費） 			
実施内容 (手段、手法など)	高浜市商工会の商工会館から高浜エコハウスへの移転完了が4月3日に伴い、4月28日に残金の支払いをした。				

計 画	
事業名等	産業経済活性化事業（用地測量業務委託・整地工事）【新規】
担当グループ	都市政策部企業支援グループ
総合計画区分	基本目標 Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう 個別目標 (6) 産業を活性化して、まちを元気にします
予算区分	会計 一般会計 款 07商工費 項 01商工費 目 02商工業振興費 事業名 05産業経済活性化事業 予算計上 繰越明許費
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない 継続・終了区分 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景 第6次高浜市総合計画の土地利用構想図及び高浜市都市計画マスタープランの将来都市構造図で位置づけられた豊田町地区の工業用地を創出するとともに企業の立地を促し、産業経済の活性化を図る必要がある。
	目的（何のために） 地域経済の活性化や地域雇用の安定のために、豊田町地区の工業用地を創出し、企業立地を進めることにより、新たな税収や雇用の場を確保し、財政基盤の安定化を図る。
	対象（誰・何を対象に） 企業又は個人事業主
	事業内容（手段・手法など） 《実施内容》 豊田町地区の工業用地の創出に向け、代替地に係る測量及び整地工事を実施する。 《手段・手法》 測量及び整地工事とともに専門業者に委託若しくは受注し実施する。
目指す成果（期待される効果） 豊田町地区の工業用地の創出により、企業立地が促進され、そこで新たな雇用や消費の場が生まれることで、市民の生活基盤が安定するとともに、地域経済が活性化する。また、産業活動が活発に行われ、税収の安定的な確保につながり、市の財政基盤が強化され、まち全体が元気になる。	

事業内容		事業費			
事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成28年度決算	15,215		4,649		10,566
決算内訳額の内訳	<ul style="list-style-type: none"> 土地境界測量業務委託料（7件） 2,901千円 整地工事費（8ヶ所） 12,314千円 				
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）				いつ
	①	土地境界測量業務が完了した。			H28.10
	②	整地工事が完了した。			H29.1
	③				
	④				
⑤					
成果・実績	豊田町地区の工業用地の創出に係る代替地の土地境界測量及び整地工事を実施したことで、開発区域内の用地を確保することができた。				

事業名等		産業経済活性化事業（企業再投資促進補助）【継続】			
担当グループ		都市政策部企業支援グループ			
総合計画区分		基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう	個別目標	(6) 産業を活性化して、 まちを元気にします
予算区分		会計	一般会計	款	07商工費
		事業名	05産業経済活性化事業	項	01商工費
				目	02商工業振興費
アクションプラン		■該当する □該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	円高やリーマンショックに端を発する景気の後退により、産業の空洞化や雇用不安の懸念が高まる中、雇用の確保や財政の安定を図るためには、産業の活性化が必要であることから、投資意欲を高めるための財政支援を行い、産業空洞化対策を図る。			
	目的 (何のために)	産業空洞化に対応するため、愛知県の補助制度の受け皿となる「高浜市企業再投資促進補助金交付要綱」により、市内企業の他地域への設備投資の防止、企業の経営基盤の強化による雇用の維持拡大、税収確保による財政基盤の強化を図る。			
	対象 (誰・何を対象に)	原則20年以上、工場が高浜市内に立地する企業で、工場の新增設や新たなライン設備等を設置する法人			
	事業内容 (手段、手法など)	【対象分野】 次世代自動車関連分野、他7分野 【対象要件】 投資要件：大企業・・・25億円以上 中小企業・・・1億円以上 雇用要件：補助金交付期間中において、以下の常用雇用者数を維持すること 大企業・・・100人以上 中小企業・・・25人以上 など 【対象経費】 土地を除く固定資産取得費用（建物及び償却資産） 【補助率】 大企業・・・3%以内 中小企業・・・6%以内（うち愛知県：3%以内） 【限度額】 大企業・・・2,500万円 中小企業・・・5,000万円			
目指す成果 (期待される効果)	企業による本市への設備投資により、企業の経営基盤の強化が図られ、雇用を維持拡大するとともに、本市の安定的な税収確保につながり、財政基盤の強化が図られる。				

		事業内容 事業概要				
平成28年度 決算	事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,110 千円		7,555			7,555
決算内訳額の	平成27年度愛知県新あいち創造産業立地補助金・認定企業 【補助対象者】 中小企業者：1社 【補助金額】 15,110千円 【県支出金】 7,555千円					
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした（内容）					いつ
	①	申請者から交付申請書を受理した。				H28.11
	②	愛知県から交付決定通知書を受理した。				H29.3
	③	申請者に補助金を交付した。				H29.3
	④					
	⑤					
成果・実績	本補助制度により、市内企業の再投資を促すことができたことにより、企業の経営基盤の強化が図られ、雇用を維持拡大するとともに、本市の安定的な税収確保につながり、財政基盤の強化につながった。					

今後の方針等

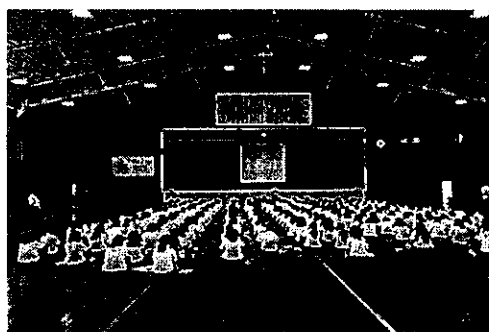
課 題		市内企業の他地域への設備投資の防止、企業の経営基盤の強化による雇用の維持拡大、税収確保による財政基盤の強化を図るため、本制度の周知を図る必要がある。				
今後の方針		制度をPRし、利用促進を図る。				
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		110,436 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	平成28年度愛知県新あいち創造産業立地補助金・認定企業 【補助対象者】 中小企業者：3社 【補助金額】 110,436千円 【県支出金】 55,217千円				
	実施内容 (手段、手法など)	平成28年度に補助対象事業者として認定した企業から、交付申請書などの手続きを経て補助金を交付する。その後、愛知県から企業に支出した補助金額の2分の1に相当する県補助金の収入を受ける。				
				55,219		

事業名等		カワラでつながるミライ事業（地方創生加速化交付金事業）【新規】						
担当グループ		都市政策部地域産業グループ・こども未来部文化スポーツグループ						
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう		個別目標	(6) 産業を活性化して、 まちを元気にします			
	予 算 区 分	会計	一般会計	款	07商工費・10教育費	項	01商工費・05社会教育費	目
アクションプラン		■該当する □該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了			
事業概要	事業の必要性・実施の背景	必ず訪れる超高齢化や人口減少に立ち向かうためには、若年層の人口流出を是正し、市税収入や経済消費を支える生産年齢人口を維持していくことが大切である。そのためには、地域資源を活かし、産業を活性化することで、まち・ひと・しごと創出の好循環をつくりだす必要がある。						
	目的（何のために）	高浜市における「瓦」とは、屋根材という意味だけではなく「働く」「モノづくり」ということの意味でもある。高浜市の「働く」「モノづくり」などのいろいろなモノ・コトをヒトで繋げ、高浜市のミライ（産業の活性化や雇用の創出、まちの魅力、市民のまちに対する愛着・誇りの創出）に向かって「しごと」が「ひと」を呼び「ひと」が「しごと」を呼びこむ循環を確立する。						
	対象（誰・何を対象に）	全てのひと						
	事業内容（手段・手法など）	高校生レストランの仕掛人である岸川政之氏の支援を受け、高浜市内の高校生（若者）が「かわら美術館」を活動拠点とし、地域の課題をビジネス手法を用いて解決するコミュニティ・ビジネスにチャレンジするとともに、高校生（若者）のアイデアにクリエイターの更なる発想を加えるために「かわら美術館」にクリエイターの活動拠点を創出する。また、「自らの事業によるまちおこし」「子ども・若者を支えるコミュニティ・ビジネス」をテーマとして社会起業家創出に向けた支援を行う。そして、ひとを呼び込むために本事業を全国に情報発信していく。なお、本事業の目的を達成させるため、市内の瓦産業界、経済団体、金融機関等と積極的な連携を図り事業を行う。						
目指す成果（期待される効果）	地域のしごと創出（特に若い世代）に寄与するとともに、将来の高浜市を担う地方創生人材の育成（地方への人の流れ）、若者雇用対策（働き方改革）、まちの賑わい（まちづくり）の創出にも寄与する。加えて、一億総活躍社会の実現を目指すべく、高校生から始まる「希望を生みだす強い経済」の創出、「子育て支援」にもつながる。							

事業内容		事業成果				
事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成28年度決算	17,997千円	17,997				
決算額の	【7款 商工費】 ・備品購入費 996千円 ・高校生・社会起業家支援委託料 7,865千円 ・全国情報発信業務委託料 6,480千円 ・事務支援委託料 2,656千円 【10款 教育費】 ・かわら美術館3階空間設計業務委託料 0円 ・かわら美術館3階空間整備工事費 0円					
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）				いつ	
	①	庁内プロジェクトチームの発足			H28.4	
	②	高浜高校生1年生へのSBP（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）参加呼びかけ			H28.7	
	③	高校生によるSBP活動実施			H28.8	
	④	高校生と市内鬼瓦事業者など地元企業へのマッチング			H28.8	
	⑤	オリジナルキャラクター焼き（Sの絆焼き完成）・他校への営業			H29.3	
成果・実績	コミュニティ・ビジネスフォーラム実施 コミュニティ・ビジネスセミナー実施				H28.6 H28.7	
	・全国で実施されつつある「高校生SBP」を愛知県内で初めて取り組むことができた。 ・SBP活動として「Sの絆焼き（キャラクター焼き）を完成させ、他校へ営業活動を行った。 ・並行して従来手法による一般市民チャレンジの発掘も行った。 ※かわら美術館3階整備について 各種実践を通して試行的に3階を活用する中で、ハード整備を行わなければ事業目的を達成できないものではないという検討結果に至り、国費による改修工事は行わないこととした。空間の特性や利用者の自由な発想を活かして、アイデアの実現に向けた活動を行う場としていく。					

今後の方針等

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネスの持続 ・コミュニティ・ビジネスを継続して続けていくための安定した仕組みづくりが必要 ・コミュニティ・ビジネスの理念形成 ・チャレンジャー（高校生を含む）及び地域・企業（受け手）とをスムーズに結びつける共通理念が必要 					
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・応援企業への行政の対応や意欲を高め、主体的に取り組むチャレンジャー（高校生を含む）が育つように支援していく。 ・チャレンジャー（高校生を含む）と地域・企業との連携の促進を図る機会を創出する。 					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		10,790 千円	国庫支出金 4,377	県支出金	地方債	その他 6,413
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 29千円 ・消耗品・燃料費 159千円 ・委託料 7,744千円 ・自動車借上料 1,014千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 189千円 ・保険料 5千円 ・有料道路通行料 150千円 ・交付金 1,500千円 			
実施内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジャーの活動に対するサポート。 ・チャレンジャーの事業構想構築を図る。 ・チャレンジャーに対する支援体制の構築を図る。 ・創業し、活動中のチャレンジャーのフォローアップサポートを行う。 					



高浜高校1年生へのSBP参加の呼びかけ



Sの交流フェア（伊勢神宮外宮）出展



企業への高校生による交渉の様子



県外他校（青森県）への営業の様子

事業名等		公園整備管理事業（公園施設長寿命化計画策定業務委託）【新規】			
担当グループ		都市政策部都市整備グループ			
総合計画区分		基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう	個別目標	(8) ハーモニーを奏でる 快適な都市空間をつくります
予算区分		会計	一般会計	款	08土木費
アクションプラン		事業名	01公園整備管理事業	項	05都市計画費
		目	04公園緑化費	目	04公園緑化費
		事業名	01公園整備管理事業	予算計上	当初予算
		継続・終了区分	■継続実施	□28年度で終了	
事業概要	事業の必要性・実施の背景	昭和40年代後半より区画整理事業等において短期間に整備された施設が多く、一斉に老朽化が進行している。また、その施設は修繕等により維持しているが、耐用年数を超過し、修繕費が年々増加するとともに、損傷等による事故の危険性も高まっている。 今後、総合管理計画に基づくインフラ施設の個別計画の策定に必要な基礎資料となる。			
	目的 (何のために)	公園施設の調査点検により、老朽度・劣化度を把握し長寿命化修繕計画による維持管理費の平準化を図るとともに、更新計画の策定をおこなう。 施設の長寿命化に必要な修繕・更新を行う。			
	対象 (誰・何を対象に)	都市公園（街区公園10箇所）・（近隣公園1箇所）（都市緑地1箇所）			
	事業内容 (手段・手法など)	長寿命化計画策定に必要な基礎資料の収集のため、各施設の劣化度および老朽度を調査・点検し、修繕費の算出を行うとともに、長寿命化修繕計画の策定を行う。 ・公園施設長寿命化計画策定業務 8,003千円 軽度な損傷時に修繕を実施（予防保全）し、損傷の進行を抑制することで大規模修繕の、機能保全による施設利用サービスの継続を図る。			
目指す成果 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画による修繕により、施設の長寿命化および修繕費の平準化を図る。 ・施設損傷等による利用者の事故の軽減を図る。 				

事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
平成28年度 決算	8,003			8,003
決算額の	・公園施設長寿命化計画策定業務委託 8,003千円			
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)			いつ
	①	委託契約をした。		H28.6
	②	現地調査・長寿命化計画の検討と策定をした。		H29.1
	③			
	④			
成果・実績	公園施設の老朽度・劣化度を把握、修繕費の算出を行い、長寿命化修繕計画による維持管理費の平準化を検討できた。			
	主要施策成果説明書該当ページ 211ページ			

今後の方針等

課題	公園施設の修繕・更新するにあたり、公園利用状況・地域ニーズの変化に対応した公園施設再整備計画を作成する必要がある。					
今後の方針	公園利用状況・地域ニーズの変化を踏まえ、町内会等と協議し、都市公園の再整備計画を策定していく。					
平 成 2 9 年 度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	・予算計上なし				
	実施内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設のあり方を「長寿命化」と「再整備」を、今後の維持管理費等を比較し検討する。 公園利用人数の把握などの公園利用状況調査を行う。 				

事業報告等（公園等）

公園一覧表						
区分	NO	名称	所在地	面積 (m2)	開園年月日	
都市公園	街区公園	1	丸畑公園	呉竹町一丁目2番1	3,066	S48.3.7
		2	大坪公園	八幡町五丁目9番14	2,030	S49.2.12
		3	洲崎公園	田戸町七丁目7番20	4,038	S52.5.1
		4	碧海公園	碧海町二丁目6番2	2,750	S53.4.1
		5	蛇技公園	芳川町三丁目6番12	1,341	S57.4.1
		6	小中根公園	呉竹町四丁目13番1	2,398	S57.4.1
		7	湯山公園	湯山町八丁目11番1	2,795	S58.4.1
		8	山田公園	小池町四丁目7番11	2,417	S59.4.1
		9	竜田公園	芳川町一丁目2番1	1,000	S61.4.1
		10	後世山公園	湯山町五丁目9番1	4,584	S61.4.1
	近隣	11	中部公園	神明町一丁目12番1	24,497	S63.4.1
	緑地	12	大山緑地	春日町二丁目1番1	27,448	H4.6.22

事業名等		消防団活動事業（消防団員家賃補助）【継続】			
担当グループ		都市政策部都市防災グループ			
総合計画区分		基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう	個別目標	(9) 安全・安心が実感できる 地域づくりを進めます。
予算区分		会計	一般会計	款	09消防費
アクションプラン		事業名	04 消防団活動事業	項	01 消防費
		目	01 消防費	目	01 消防費
		事業名	04 消防団活動事業	予算計上	当初予算
		□該当する ■該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	大規模災害が発生した場合、地域に密着した存在として、地域の実情を熟知し、動員力を有する消防団は、地域防災の要であり、住民に身近なところでの活躍が、期待されているが、近年、勤め人の増加や少子化等により、消防団員の減少傾向が続いている。 このような状況の中、地域防災の要である消防団員の確保は、大変重要な課題である。			
	目的 (何のために)	新規消防団員の確保及び消防団員の処遇改善の一環として、現行の「消防団員家賃補助金制度」の拡充・充実を図る。			
	対象 (誰・何を対象に)	賃貸住宅に居住する消防団員			
	事業内容 (手段、手法など)	◇賃貸住宅に居住する消防団員に対し、家賃補助を行う。 ・一人暮らし 4,500円（月額） <新規> ・配偶者あり、子なし 9,000円（月額） <新規> ・配偶者あり、子1人以上 13,500円（月額） ・配偶者なし、子1人 9,000円（月額） <新規> ・配偶者なし、子2人以上 13,500円（月額） <新規> ◇所得制限の廃止（必要書類の簡素化含む）			
目指す成果 (期待される効果)	◇新規消防団員の確保 ◇消防団活動への積極的な参加（家賃補助対象者は、消防団活動日数が、おおむね5割を超える者との規定あり）				

事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
平成28年度 決算	1,080			1,080
決算内訳額	・支給者：12人 ・支給額：1,080千円			
スケジュール (実績)	何を・どのように・どうした(内容)			いつ
	①	転入手続きの際に、制度に関するチラシを配布し入団の促進を図った。		通年
	②	鬼みちまつりなど、イベント時にチラシを配布し加入促進に努めた。		通年
	③	広報やホームページなどを通じ、制度のPRに努めた。		通年
	④			
⑤				
成果・実績	平成28年度より対象者の規制緩和を図ったことにより、利用者が大幅に増加し、団員の士気の高揚などに繋がった。			

今後の方針等

課題		制度の拡充・充実により、現役消防団員の利用率は向上したが、新規消防団員の確保には結びついていない状況である。				
今後の方針		高浜市独自の本制度を各種の情報媒体を通じ一般市民等にPRする中で、消防団員の確保につなげる。加えて、企業にも積極的にPRを行い、社員等の加入促進を図る。				
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		1,890 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	制度利用消防団員 【一人暮らし】 4,500円×9人×12ヶ月＝486千円 【配偶者有】 9,000円×7人×12ヶ月＝756千円 【配偶者及び子有】 13,500円×4人×12ヶ月＝648千円				
実施内容 (手段、手法など)		アパートやマンションへのチラシのポスティング、企業の個別訪問を実施し、チラシの配布・掲示等を依頼する中で、制度のPRに努め、新規消防団員の確保を図る。				

事業名等		小学校維持管理事業（小学校屋内運動場吊り天井等改修工事）【継続】			
担当グループ		教育委員会学校経営グループ			
総合計画区分		基本目標 II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう	個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます	
予算区分		会計 一般会計	款 10教育費	項 02小学校費	目 01学校管理費
アクションプラン		事業名 01小学校維持管理事業		予算計上	当初予算
アクションプラン		□該当する ■該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	近年発生した大規模な地震では、屋内運動場の天井材の落下などいわゆる『非構造部材』の被害が発生しているが、屋内運動場は、子どもたちの活動の場であり、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となることから、その安全性の確保が求められている。			
	目的（何のために）	屋内運動場の天井の照明や、壁面のスピーカーや校歌の額、ステージ上の吊物等の落下防止対策を図り、大規模な地震が発生した際の安全の確保を図る。			
	対象（誰・何を対象に）	児童、教職員及び地域住民等の利用者			
	事業内容（手段・手法など）	[港小学校] ・天井の照明器具や火災報知器の落下防止対策を図る。 ・ステージ上の吊物等の落下防止対策を図る。 ・バスケットゴールや壁掛時計等の落下防止対策を図る。 ・肋木や吊り縄の補強を図る。			
目指す成果（期待される効果）	大規模な地震が発生した際、屋内運動場を利用する児童、教職員及び地域住民の落下物による危険を取り除き、安全を確保する。				

事業費	財源内訳（単位：千円）				
	事業費（決算額）	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
平成28年度決算	16,576 千円			12,000	4,576
決算内訳	・小学校屋内運動場吊り天井等改修工事費 16,576千円 （実施内容） ・仮設工事 ・鉄骨工事 ・落下防止対策工事 ・電気設備工事				
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）				いつ
	①	仮囲いや養生、内部足場を設置する。			H28.12~H29.1
	②	バスケットゴールや緞帳等の落下防止対策工事を行う。			H29.1~H29.2
	③	吊り縄の基礎部分等の改修工事を行う。			H29.1
	④	天井照明をLED照明への取替工事を行う。			H29.1~H29.2
⑤					
成果・実績	大規模な地震が発生した際、屋内運動場を利用する児童、教職員及び地域住民の落下物による危険を取り除き、安全を確保することができる。 天井照明をLED照明に取り替えたことで、以前より点灯時間が短縮されるとともに、学校現場からは明るくなったとの声が出ている。				

今後の方針等

課 題	平成29年度に、翼小学校及び南中学校の屋内運動場の落下防止対策等工事を実施すれば、高浜小学校を除く市内すべての小中学校屋内運動場の落下防止対策等工事が終了する。なお、高浜小学校については近々建替が予定されている。					
今後の方針	落下防止対策等の安全確保は今年度で一段落となるが、児童・生徒及び地域利用者が使いやすい屋内運動場となるよう、不備な箇所が出てきた場合は、必要な修繕は引き続き行っていく。					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		71,669 千円	国庫支出金 7,000	県支出金	地方債 49,000	その他 15,669
	主な経費	[翼小学校]・小学校屋内運動場防災機能強化工事費 15,645千円 [南中学校]・中学校屋内運動場防災機能強化工事費 56,024千円 （主な実施内容）・仮設工事 ・落下防止対策工事 ・防水改修工事 ・電気設備工事 ・外壁改修工事 ・建具改修工事				
実施内容 (手段、手法など)	平成29年度は、翼小学校と南中学校の屋内運動場の落下防止対策等工事を行う。両校とも吊り天井はないが、特に南中学校屋内運動場では、外壁の劣化や一部雨漏り箇所も見られるため、外壁工事や防水改修工事等も実施する。					

事業名等		小学校維持管理事業（吉浜小学校グラウンド整備工事）【新規】			
担当グループ		教育委員会学校経営グループ			
総合計画区分		基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう	個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます
予算区分		会計	一般会計	款	10教育費
		項	02小学校費	目	01学校管理費
		事業名	01小学校維持管理事業		予算計上
				当初予算	
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		継続・終了区分	<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	吉浜小学校グラウンドの雨天後の排水が非常に悪く、学校行事・体育授業や地域スポーツの活動に支障をきたしている。			
	目的（何のために）	雨天後のグラウンドの水はけを良くし、グラウンドを使用したさまざまな活動に支障をきたさないようにする。			
	対象（誰・何を対象に）	児童、教員及び地域住民			
	事業内容（手段・手法など）	既設表面を若干削り取り、水はけの良い改良土を入れるとともに、水はけが改善されるようグラウンド全体に傾斜をつけ、合わせて排水路を新設する。			
目指す成果（期待される効果）	雨天後も速やかに、さまざまな活動を実施できるようになる。				

		事業内容 事業費				
平成28年度決算	事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,008 千円			21,000		7,008
決算内訳	・吉浜小学校グラウンド整備工事費 28,008千円 （実施内容） ・準備工 ・付帯施設工 ・グラウンド舗装工 ・グラウンド施設整備工 ・撤去工					
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）					いつ
	①	工事敷地にフェンスを設置したり、表層土を削る等の準備工を行う。				H28.7
	②	グラウンド外周部芝生等を撤去する。				H28.7
	③	グラウンドの外周に排水溝や流末柵等を設置する。				H28.7～8
	④	表層土の改良作業とグラウンド表面の仕上げ等を行う。				H28.8
	⑤	野球ベースのポイントや陸上トラックのマーク等を設置する。				H28.8
成果・実績	雨天後のグラウンド状態は非常に良い状態に保たれ、かなり体育の授業等への影響がなくなった。また、雨天後も、休憩時間や放課後等も児童がグラウンドで遊ぶことができるようになった。					

計 画

事業名等	生涯学習施設管理運営事業（中央公民館解体工事）【新規】			
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ			
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費
	事業名	03生涯学習施設管理運営事業		目
				02生涯学習機会提供費
アクションプラン	□該当する ■該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	持続可能な財政運営を行うため、施設の老朽化等により多額の改修費用が見込まれる中央公民館の取壊しを当初計画より前倒して実施する。なお、中央公民館の「集会機能」は、地区公民館やコミュニティプラザなど同機能を有する市内の集会施設で代替し、「ホール機能」は、高浜小学校の体育館に機能移転する。		
	目的（何のために）	中央公民館の老朽化等により今後見込まれる多額の改修費用を持続可能な財政運営に資するため。		
	対象（誰、何を対象に）	中央公民館		
	事業内容（手段、手法など）	中央公民館解体工事を行う。 （全体の流れ） ①内装の撤去 ②地上部の解体 ③基礎の撤去 ④くいの引抜き ⑤外構他埋戻し・整地等		
目指す成果（期待される効果）	計画時期の前倒しにより、施設や設備の改修費用を抑制し、持続可能な財政運営に資する。			

実施内容 事業成果

平成28年度 決算	事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）			
	1,900 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
決算内訳額	・中央公民館解体工事費 1,900千円（前金払）				
スケジュール （実績）	何を・どのように・どうした（内容）				いつ
	①	オカコー(株)と仮契約締結			H28.8.17
	②	オカコー(株)と契約締結			H29.1.26
	③	住民説明会等、工事準備を行った。			H29.1~3
	④	解体工事（内装撤去）に着手した。			H29.3
⑤					
成果・実績	中央公民館解体工事について、仮契約締結、住民投票の後、議会の議決を得てから本契約を締結し、工事準備等を行った。				

今後の方針等

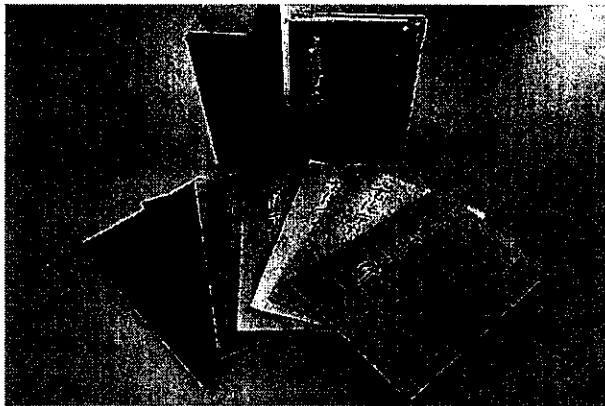
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内装撤去、地上部の解体は順調に進捗している。 ・地下水の水位上昇によって、水中に埋まっている地下部では壁・梁・柱・床盤等が解体できない状況にあり、解体工事の杭抜き工程に影響が出るため、新規に排水対策工事を実施する必要がある。 					
<p>今後の方針</p>	<p>ディープウェル工事の実施を、基礎撤去と杭抜き作業等の工事とともに適切に実施していく。</p>					
<p>平成29年度</p>	<p>当初予算</p>	<p>事業費（予算額）</p> <p>135,584 千円</p>	<p>財源内訳（単位：千円）</p>			
		<p>国庫支出金</p>	<p>県支出金</p>	<p>地方債</p> <p>119,000</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p> <p>16,584</p>
	<p>主な経費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館解体工事費 132,884千円 ・中央公民館アスベスト除去工事費 2,700千円（繰越明許費） 				
<p>実施内容 (手段、手法など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に引き続き、中央公民館解体工事を行う。 ・中央公民館アスベスト除去工事を行った。（5月完了） 					

計 画	
事業名等	文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）【新規】
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ
総合計画区分	基本目標 II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう 個別目標 (3) 人と学びの輪を広げ、まちの子カヲを育みます
予算区分	会計 一般会計 款 10教育費 項 05社会教育費 目 06文化財保護費 事業名 01文化財保護事業 予算計上 当初予算
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない 継続・終了区分 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景 これまで、個人の学びを高め、学びの成果をまち中に広げる取組みとして「タカハマ！まるごと宝箱」事業を行い、地域の歴史や文化について積極的に調査・研究しようという人材の発掘も進んできた。以前の「高浜市誌」は発行から約40年が経過しており、この間の歴史は記録として残されていないのが現状で、今後、資料の散逸も予想されることから、新たな市誌編さんに取り組む必要がある。
	目的（何のために） 高浜市がより良い未来を目指すためには、これまで歩んできた歴史や人々の記憶を知る必要があり、このまちへの愛着や誇りを高め、高浜市の歴史を後世に引き継ぐことを目的として、市誌編さんに着手する。
	対象（誰、何を対象に） 市民
	事業内容（手段、手法など） 市誌編さんの体制づくり、基本方針の策定、編集要領の作成など、市誌編さんに向けた準備を進める。 ・市誌編さん委員会の設立 ・基本方針の検討・策定 ・編集要領の策定 ・編・章など骨格にあたる部分の構成・目次案の作成 ・執筆者の分担や選定
目指す成果（期待される効果） 市の歴史は、市民がこれまで脈々と築いてきた生活・文化・記憶の固まりであり、市の歴史を後世に引き継ぐとともに今を生きる私たちがこのまちに住む愛着と誇りを高める。	

事業内容 事業概要										
平成28年度 決算	事業費（決算額） 847 千円									
	財源内訳（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>847</td> </tr> </tbody> </table>	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
				847						
スケジュール （実績）	決 算 内 訳 額 の 内 容 ・市誌編さん委員会委員報酬 93千円 ・市誌編さん業務委託料 713千円 ・費用弁償 2千円 ・消耗品費 39千円									
	何を・どのように・どうした（内容）	いつ								
	① 編さん基本方針を作成した。	H28.5								
	② 市誌編さん委員会を開催した。	H28.11～H29.3								
	③ 調査執筆者の選定、部会編成を行った。	H28.6～H29.1								
④ 市誌の収録内容（目次）案を作成した。	H28.6～H29.1									
⑤ 編集委員会要綱等、例規の整備を行った。	H29.1～3									
成果・実績	市民が編さんに関わり、高浜の歴史や文化を後世に伝える人材を育成するための体制を整えることができた。また、幅広い年齢層の方がこの編さんを通して交流できる仕組みもつくることができたため、次年度以降の本格的な調査・執筆活動に向けて良い準備ができた。									

今後の方針等

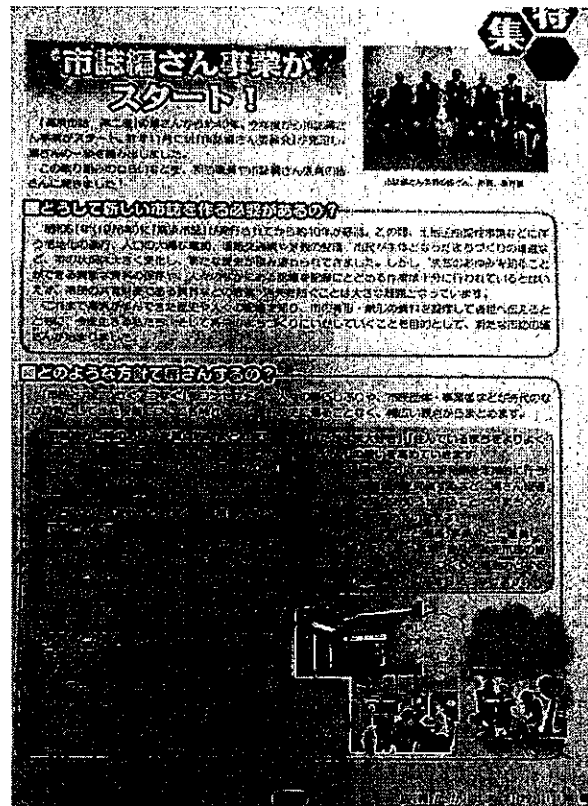
課 題	①編さんに対する市民の興味・関心をいかに高め、理解を得るかは、資料収集などにも影響するため、対策をしっかりと考える必要がある。 ②まちのあゆみや記憶が失われないよう、今後集まってくる新たな資料や、すでに郷土資料館に集まっている資料をどう整理し、後世に残すのかを考える必要がある。 ③今回の市誌編さんには、専門家だけではなく市民にも調査段階から関わっていただきたいため、情報だけではなく、人材発掘や人材育成も意識して取り組む必要がある。					
今後の方針	①広報やHPでの情報提供と共に、中間報告会の開催や、編さん内容の一部を講座形式で行う取り組み、美術館の展覧会との連携を図った資料の展示などを検討していく。 ②郷土資料館に、資料整理専属のスタッフを配置し、しっかりと整理・保管を行っていく。 ③「タカハマ！まるごと宝箱事業」と連携しながら、情報提供を絶えず呼びかけ、発表をできるだけ市民にお願いしながら、調査に関わることでできる人材の発掘や育成を行っていく。					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		14,698 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	・市誌編さん委員会委員報酬 105千円 ・市誌編さん業務委託料 3,770千円 ・賃金 2,078千円 ・報償費 8,721千円				
実施内容 (手段、手法など)	・部会に分かれ、本格的に資料調査を開始する。 ・編さん委員会において、市民目線の意見を取り入れながら活用法等を考える。 ・中間報告会の開催や、広報やHPなどで、編さんの進捗状況を発信する。					



これまでに発行された町誌・市誌及び市誌資料



市誌編さん委員会委員



平成29年1月1日号広報記事

計 画

事業名等	生涯スポーツ推進事業（碧海グランド照明器具設備更新工事等）【新規】							
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ							
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう	個別目標	(3) 人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	06保健体育費	目	02生涯スポーツ費
	事業名	01生涯スポーツ推進事業			予算計上	当初予算		
アクションプラン	■該当する □該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了				
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高浜市公共施設総合管理計画（案）をふまえ、老朽化したスポーツ施設の長寿命化を計画的に行う必要がある。また、利用者の声をふまえ、安心してスポーツが出来る環境を整える必要がある。						
	目的（何のために）	市民がスポーツに親しみ安心してスポーツ施設を利用できる環境を整える。						
	対象（誰・何を対象に）	碧海グランド						
	事業内容（手段・手法など）	碧海グランドの防球ネット設置工事、照明器具設備更新工事等を行う。						
目指す成果（期待される効果）	安全に利用できるグランド環境があり、市民が安心してスポーツに親しむことができる。							

事業内容 事業概要

平成28年度決算	事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）				
	80,774 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
決算内訳額の	○スポーツ施設改修工事費 ・碧海グランド防球ネット設置工事 9,180千円 ・碧海グランド・テニスコート照明器具設備更新工事 59,206千円 ・碧海グランド照明鉄塔塗装工事 12,388千円					
スケジュール（実績）	何を・どのように・どうした（内容）					いつ
	①	碧海グランド防球ネット設置工事を実施した。				H28.7～10
	②	碧海グランド・テニスコート照明器具設備更新工事を実施した。				H28.11～H29.3
	③	碧海グランド照明鉄塔塗装工事を実施した。				H28.11～H29.3
	④					
⑤						
成果・実績	安全・安心してスポーツに親しむことのできる環境を整えることができた。					

今後の方針等

課題		○施設の問題点に対する適切な修繕 市民がスポーツに親しむ場所の老朽化が進んでいるため、適切な修繕を行う必要がある。				
今後の方針		今後も順次各グラウンドの長寿命化を図るための改修などを計画的に進めていく。				
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		2,732 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	○スポーツ施設改修工事費 五反田第2グラウンド防球ネット張替工事 2,732千円				
	実施内容 (手段、手法など)	五反田第2グラウンドの防球ネット（南面）に破損部分が多く見られ、ボール等が飛び出す危険性があるため、張替工事を行う。				

事業名等		生涯スポーツ推進事業（（仮称）高浜緑地多目的（スポーツ）広場整備工事等）【継続】			
担当グループ		こども未来部文化スポーツグループ			
総合計画区分		基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう	個別目標	(3) 人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます
予算区分		会計	一般会計	款	10教育費
				項	06保健体育費
				目	02生涯スポーツ費
		事業名	01生涯スポーツ推進事業		予算計上
					当初予算
アクションプラン		■該当する □該当しない		継続・終了区分	■継続実施 □28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景	近年、少年野球専用グラウンドの廃止や企業にお借りしていたグラウンドが利用できなくなるなど、野球やサッカーのスポーツグラウンドが不足しており、速やかに整備する必要がある。			
	目的（何のために）	スポーツに対する市民ニーズに応え、スポーツを通じたコミュニティの形成や青少年の健全育成を図る。			
	対象（誰・何を対象に）	市民			
	事業内容（手段、手法など）	事業主体である愛知県の工事にあわせて、スポーツを行う多目的（スポーツ）広場部分の上部整備を行う。 ※付帯設備工事（高浜市負担分）：防球ネット、防球フェンス、バックネットなど			
目指す成果（期待される効果）		野球やサッカーなどのスポーツ推進、青少年の健全育成や市民の健康増進が図られる。			

事業内容		事業費				
		事業費（決算額）	財源内訳（単位：千円）			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
			一般財源			
平成28年度決算	決算額の	15,120 千円			11,000	4,120
		・工事請負費 15,120千円（前金払）				
スケジュール（実績）		何を・どのように・どうした（内容）	いつ			
	①	衣浦港務所と、県及び市実施工事の内容やスケジュールについて調整を行った。	H28.4~H29.3			
	②	上部利用についての検討会議を、関係団体を交えて行った。	H28.5~H29.3			
	③	平成27年度に開催した若者向けワークショップで出た意見・提案を上部利用検討会議メンバーで協議し、参加者へ協議結果をお返した。	H28.5			
	④	供用開始に向け、市実施工事に着手した。	H28.12			
	⑤	関係例規を整備し、名称を「高浜芳川緑地多目的広場」とした。	H29.3			
成果・実績		<ul style="list-style-type: none"> 利用者視点での意見を得ながら、県との調整を進めることができた。 供用開始に向け工事を開始するとともに、実際の運営に関する具体的な検討を進めることができた。 				
主要施策成果説明書該当ページ		249ページ				

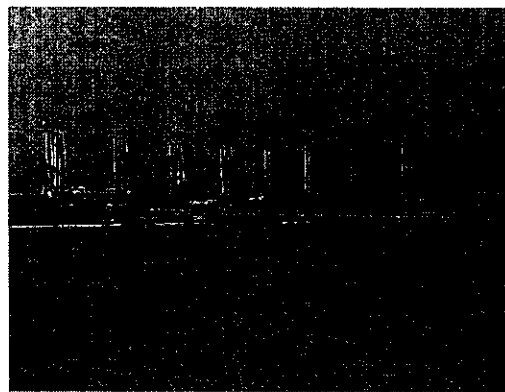
今後の方針等

課 題	駐車場等も含めて、高浜芳川緑地全体の早期完成に向けて、地元団体等から強い要望が寄せられている。					
今後の方針	地元の意向を県にしっかりと伝え、県と連携・調整しながらアクセス道路や駐車場等の整備工事を実施していく。					
平成29年度	当初予算	事業費（予算額）	財源内訳（単位：千円）			
		33,247 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	主な経費	（現年度） ・光熱水費 194千円 ・高浜芳川緑地多目的広場管理業務委託料 699千円 ・庁用器具費 2,642千円 ・水道加入者分担金 1,275千円 （繰越明許費） ・（仮称）高浜緑地多目的（スポーツ）広場工事監理業務委託 3,165千円 ・（仮称）高浜緑地多目的（スポーツ）広場整備工事費 25,272千円				
実施内容 (手段、手法など)	必要な備品等を整備し、7月1日より供用を開始する。					

成果・活動等（写真等）



多目的広場の上部利用検討会議



多目的広場の整備工事

計 画	
事業名等	生涯現役のまちづくり事業【継続】
担当グループ	福祉部生涯現役まちづくりグループ
総合計画区分	基本目標 IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう 個別目標 (11) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します
予算区分	会計 介護保険特別会計 款 04地域支援事業費 項 02一般介護予防事業費 目 01一般介護予防事業費 事業名 04生涯現役のまちづくり事業 予算計上 当初予算
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない 継続・終了区分 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 28年度で終了
事業概要	事業の必要性・実施の背景 高齢化が進展する中、介護保険利用者の増加や介護度の改善などの課題が浮き彫りになってきた。また、認知症高齢者の数も年々増加している。こうした中、介護保険を利用していない元気な高齢者に、いつまでも健康で生きがいを持って暮らしていただけるよう、情報発信のノウハウや柔軟なアイデア等を持つ民間事業者との連携により、効果的な介護予防・認知症予防の取組みを進めることが重要である。
	目的(何のために) 高齢者の閉じこもりは、医療、介護、認知症など、様々なリスクを高めるため、外出して地域の人々と交流することが必要である。このため、元気であるにも関わらず自宅に閉じこもり傾向にある高齢者を外出させるため、生涯現役のまちづくりを推進する。
	対象(誰・何を対象に) 65歳以上の高齢者
	事業内容(手段、手法など) 高齢者の「居場所づくり」「生きがいづくり」「役割づくり」を積極的に推進するため、市内の様々な社会資源を活用した「健康自生地」を創出する。より多くの方に、これらの健康自生地へ仲間と出かけ、巡っていただくため、民間事業者の持つノウハウ等を活かした支援業務を委託しながら、情報発信や、PRイベント等を実施する。 ・情報誌「でいでーる」を発行する ・「でいでーる」編集チームの立ち上げを検討する ・健康自生地スタンプラリーを実施する ・地域差の解消や男性が積極的に参加できる仕掛けを検討する ・健康自生地を知っていただくためのツアーを開催する また、国立長寿医療研究センターとの協働研究により、活動量計を活用した効果測定を行う。
目指す成果(期待される効果) 高齢者一人ひとりが、自分の居場所、生きがい、役割を見つけ、毎日外出をして地域の人々と交流することにより、張り合いのある日々を送る。このことにより、医療や介護を必要とする高齢者が減少し、生涯現役で長く活躍していただけるようになる。	

事業費(決算額)	財源内訳(単位:千円)				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成28年度決算 8,746 千円	2,169	1,084		2,497	2,996
決算内訳額の	・消耗品費 194千円 ・燃料費 25千円 ・印刷製本費 98千円 ・自動車損害保険料 27千円 ・生涯現役のまちづくり推進業務委託料 209千円 ・生涯現役のまちづくり支援業務委託料 7,452千円 ・公共駐車場借上料 66千円 ・健康自生地施設備品借上料 50千円 ・機械器具費 621千円 ・自動車重量税 4千円				
スケジュール(実績)	何を・どのように・どうした(内容)				いつ
	①	新たな健康自生地を13ヶ所創出した。			H28.4~H29.3
	②	健康自生地スタンプラリーを実施した。			H27.12~H28.12
	③	健康自生地が集まる「健康自生地フェスタ」や健康自生地を巡る「ウォーキングツアー」を実施した。			H28.8、11
	④	ホコタッチにおける、健康自生地への訪問ポイントの付与を開始した。			H28.10
成果・実績	⑤				H28.12、H29.3
	・情報誌等による情報発信、イベントの開催、ホコタッチの訪問ポイントの付与など、外出につながる仕掛けを実施したことで、より多くの高齢者が健康自生地へ出かけるようになった。 ・フェスタやウォーキングツアー、モデルコースの紹介などを実施したことで、健康自生地を知っていただく機会や担い手にとっての刺激となり、活性化につながった。				

今後の方針等

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの高齢者に、健康自生地へ出かけていただくためには、出かけたくなる情報や発信方法を検討する必要がある。 ・年齢が上がったり、体が少し弱ってきた方でも、通い続けられる地域の居場所を増やしていくことが必要である。 ・健康自生地の認定が始まって3年が経過したことから、数だけでなく、質の向上を図る必要がある。 				
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康自生地マップの作成や、モデルコースの紹介、さまざまな切り口での特集記事の掲載など、健康自生地へ出かけるきっかけとなるような情報を発信する。 ・より高齢な方や、体が少し弱ってきた方にもオススメの健康自生地の特集記事などを発信する。 ・認定後1年以上経過した健康自生地の再審査に加え、担い手や利用者アンケートを実施するなど声を拾い、実態調査や課題解決策の検討を行う。 				
<p>平成29年度</p>	<p>事業費（予算額）</p> <p>10,850 千円</p>	<p>財源内訳（単位：千円）</p>			
	<p>国庫支出金</p> <p>2,699</p>	<p>県支出金</p> <p>1,349</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p> <p>3,075</p>	<p>一般財源</p> <p>3,727</p>
<p>実施内容 (手段、手法など)</p>	<p>主な経費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金 2,346千円 ・印刷製本費 97千円 ・生涯現役のまちづくり推進業務委託料 216千円 ・生涯現役のまちづくり支援業務委託料 7,452千円 ・健康自生地フェスタ備品借上料 54千円 ・高齢者の居場所づくり活動費補助金 300千円 ・消耗品費 261千円 ・燃料費 39千円 ・修繕料 13千円 ・公共駐車場借上料 72千円 			